

【参考】在宅介護実態調査（厚生労働省 在宅介護実態調査自動集計分析ソフトによる集計分析結果）

調査結果の留意点

- 報告書作成にあたり「厚生労働省老健局介護保険計画課 在宅介護実態調査自動集計分析ソフト」を用いて介護保険認定データと突合できた606人を母数として集計・分析を行った。
- 本文中の「サービスの利用回数」は、認定調査を行った月のサービスの利用回数または、認定調査を行った月の利用状況が通常の場合と異なる場合は、直近の月のサービス利用回数である。
- サービスの利用回数・組み合わせ等に着眼した集計・分析に係る用語の定義は以下のとおりである。

<サービス利用の分析に用いた用語の定義>

用語	定義	
未利用	・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、「未利用」として集計している。	
訪問系	・（介護予防）訪問介護、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計している。	
通所系	・（介護予防）通所介護、（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計している。	
短期系	・（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計している。	
その他	小規模多機能	・（介護予防）小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計している。
	看護多機能	・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計している。
	定期巡回	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計している。

<サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義>

用語	定義
未利用	・上表に同じ
訪問系のみ	・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計している。
訪問系を含む 組み合わせ	・上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」＋「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計している。
通所系・短期系のみ	・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」＋「短期系」の利用を集計している。

6 在宅介護実態調査

<障害高齢者の日常生活自立度>

用語	説明	
J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。	
	J 1	交通機関等を利用して外出する。
	J 2	隣近所へなら外出する。
A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。	
	A 1	介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。
	A 2	外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。
B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ。	
	B 1	車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。
	B 2	介助により車いすに移乗する。
C	1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。	
	C 1	自力で寝返りをうつ。
	C 2	自力では寝返りもうてない。

<認知症高齢者の日常生活自立度>

用語	説明	
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
	II a	家庭外で上記IIの状態が見られる。
	II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。
III	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	
	III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。
	III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	

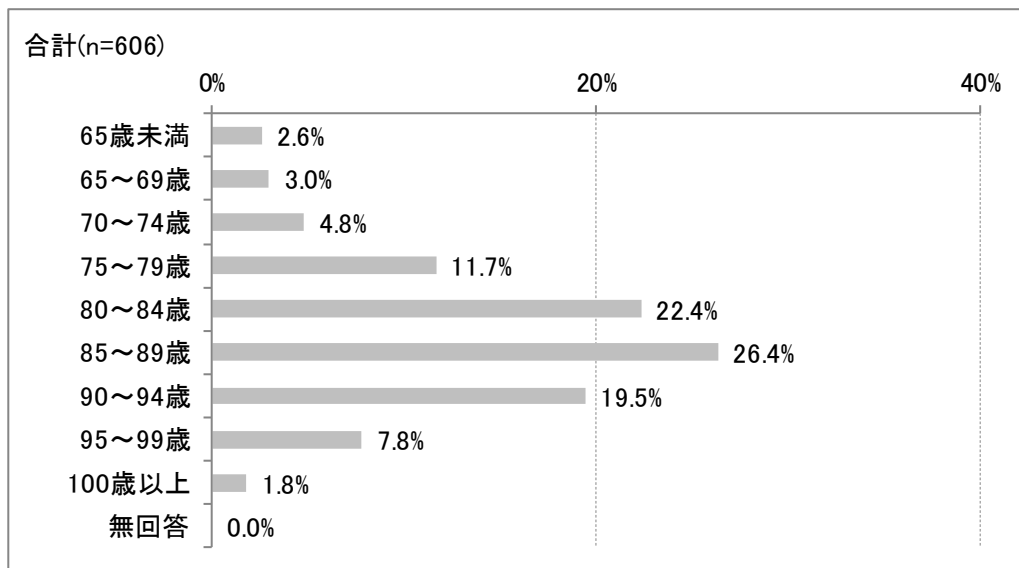
1 調査結果の詳細（単純集計結果）

要介護認定データ

（1）年齢

「85～89歳」の割合が最も高く26.4%となっている。次いで、「80～84歳（22.4%）」、「90～94歳（19.5%）」となっている。

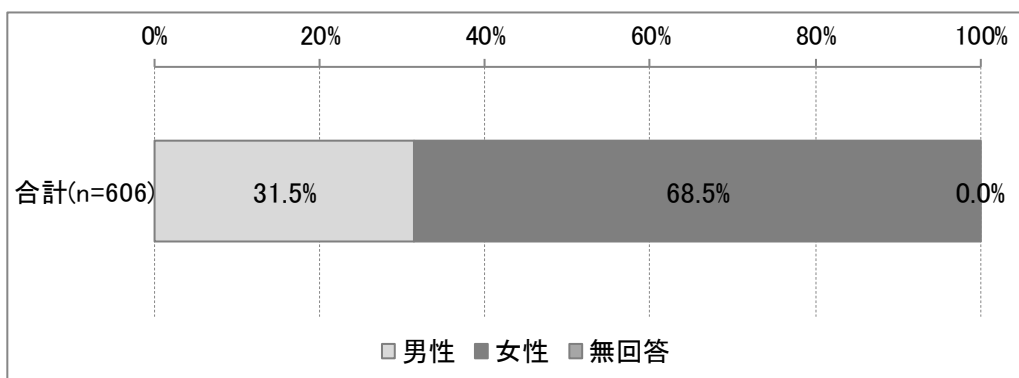
【図表 301】年齢



（2）性別

「男性」が31.5%、「女性」が68.5%となっている。

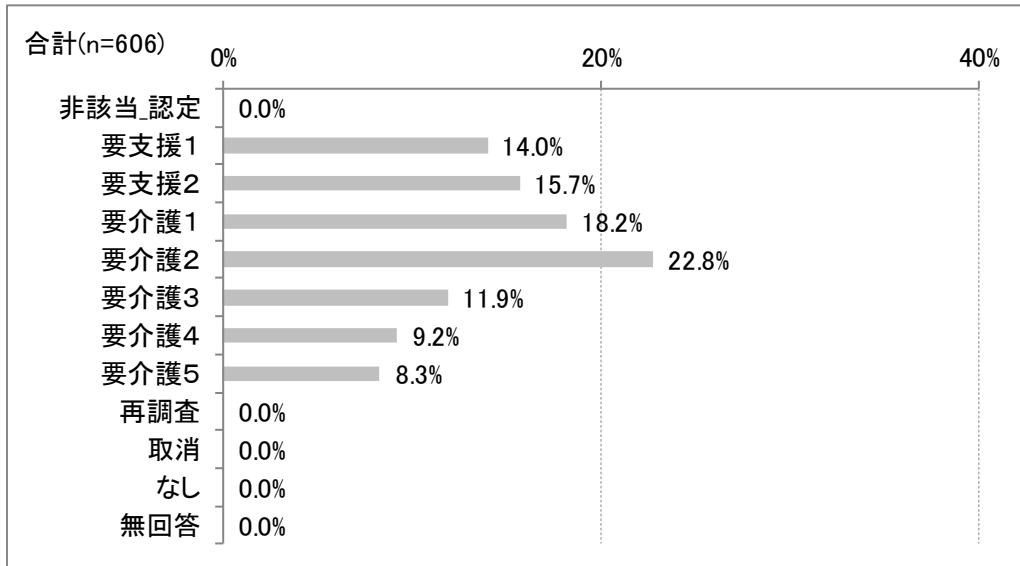
【図表 302】性別



(3) 二次判定結果（要介護度）

「要介護2」の割合が最も高く 22.8%となっている。次いで、「要介護1（18.2%）」、「要支援2（15.7%）」となっている。

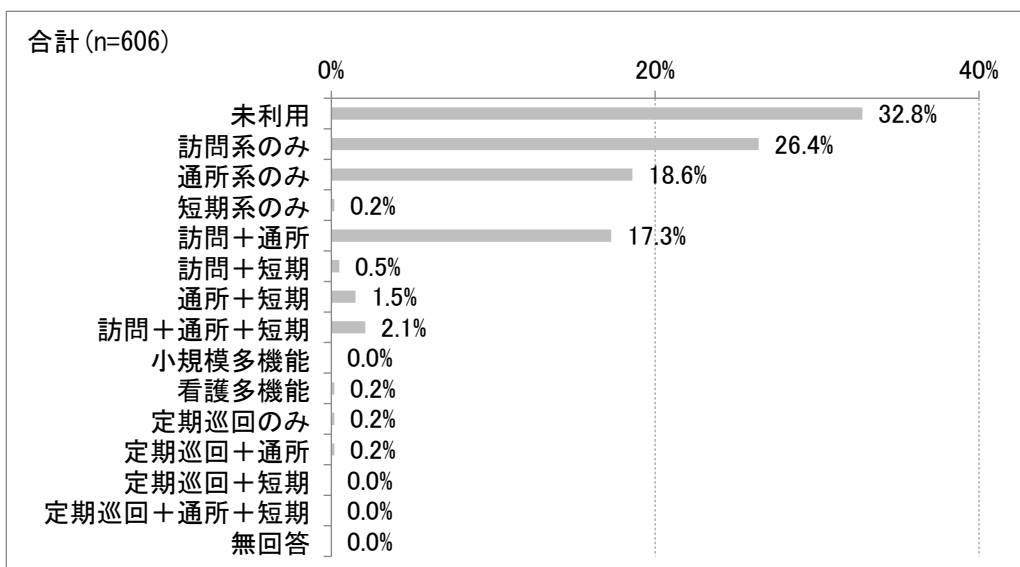
【図表 303】 二次判定結果



(4) サービス利用の組み合わせ

「未利用」の割合が最も高く 32.8%となっている。次いで、「訪問系のみ（26.4%）」、「通所系のみ（18.6%）」となっている。

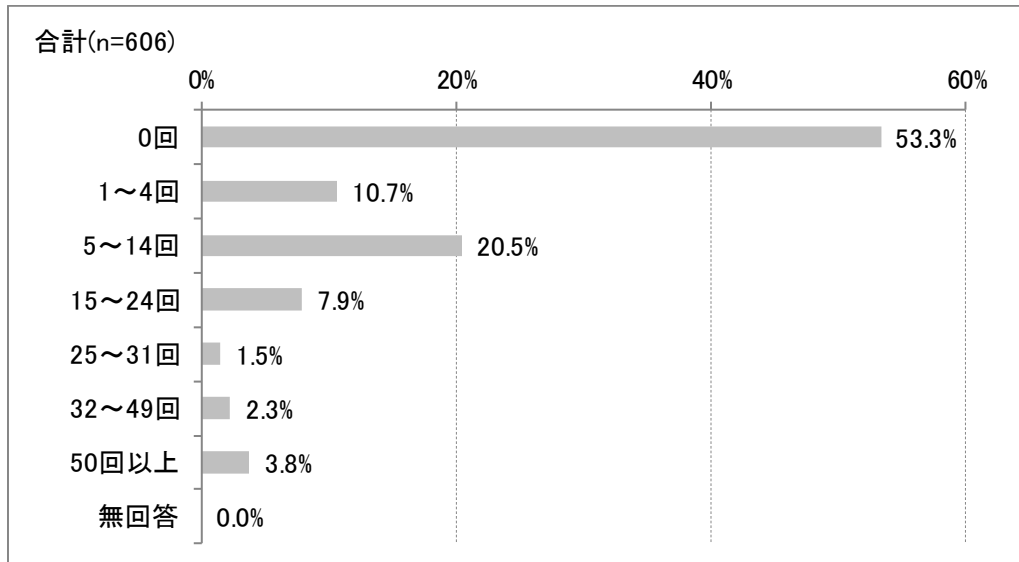
【図表 304】 サービス利用の組み合わせ



(5) 訪問系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く 53.3%となっている。次いで、「5～14回 (20.5%)」、「1～4回 (10.7%)」となっている。

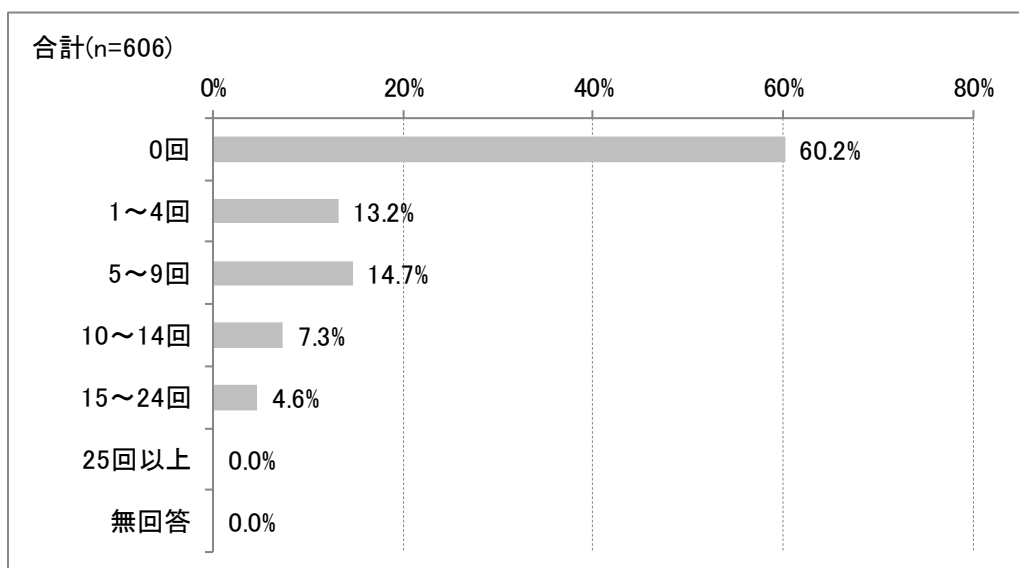
【図表 305】サービスの利用回数（訪問系）



(6) 通所系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く 60.2%となっている。次いで、「5～9回 (14.7%)」、「1～4回 (13.2%)」となっている。

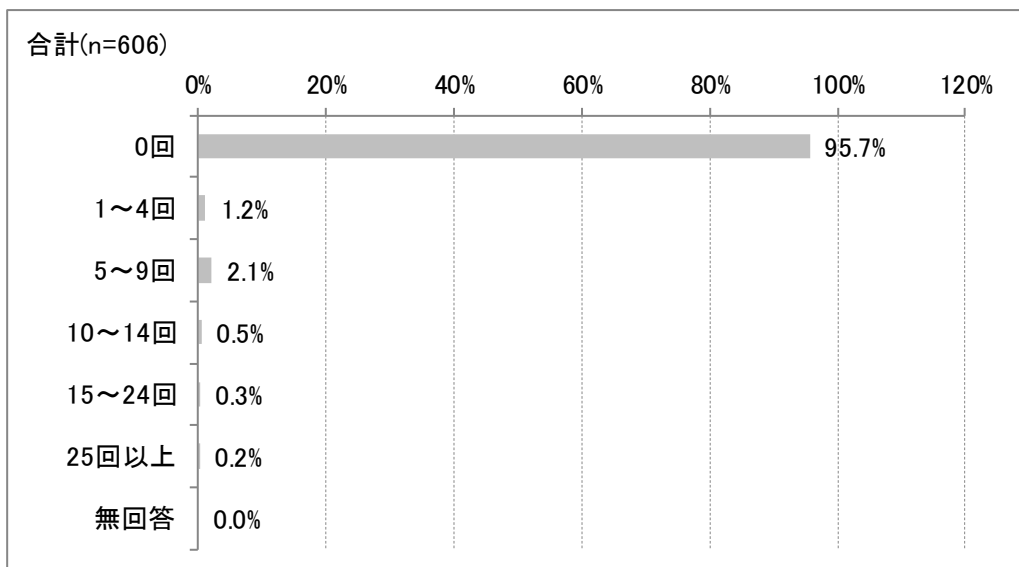
【図表 306】サービスの利用回数（通所系）



(7) 短期系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く 95.7%となっている。次いで、「5～9回 (2.1%)」、「1～4回 (1.2%)」となっている。

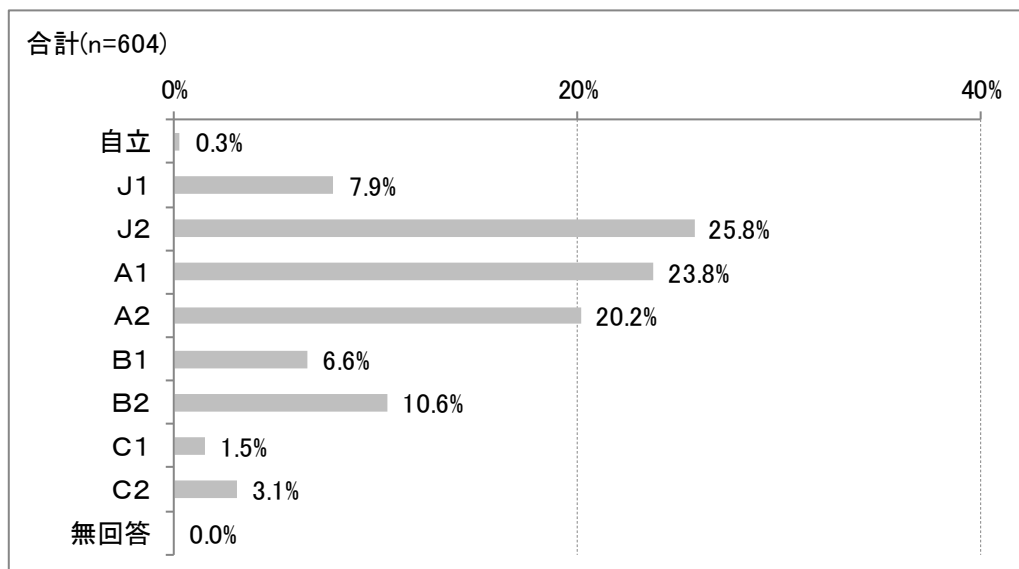
【図表 307】サービスの利用回数（短期系）



(8) 障害高齢者の日常生活自立度

「J2」の割合が最も高く 25.8%となっている。次いで、「A1 (23.8%)」、「A2 (20.2%)」となっている。

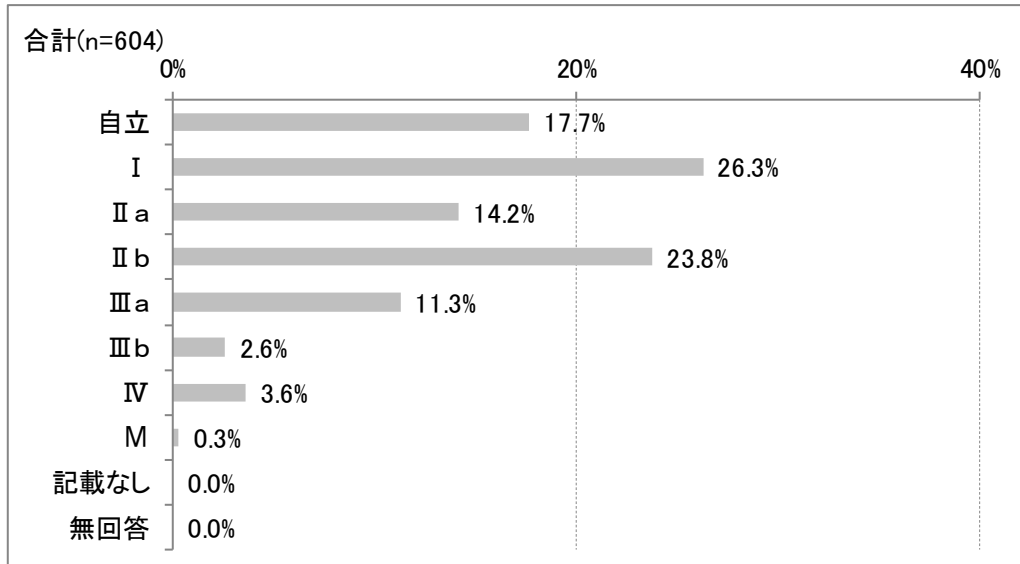
【図表 308】障害高齢者の日常生活自立度



(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

「I」の割合が最も高く 26.3%となっている。次いで、「II b (23.8%)」、「自立 (17.7%)」となっている。

【図表 309】 認知症高齢者の日常生活自立度

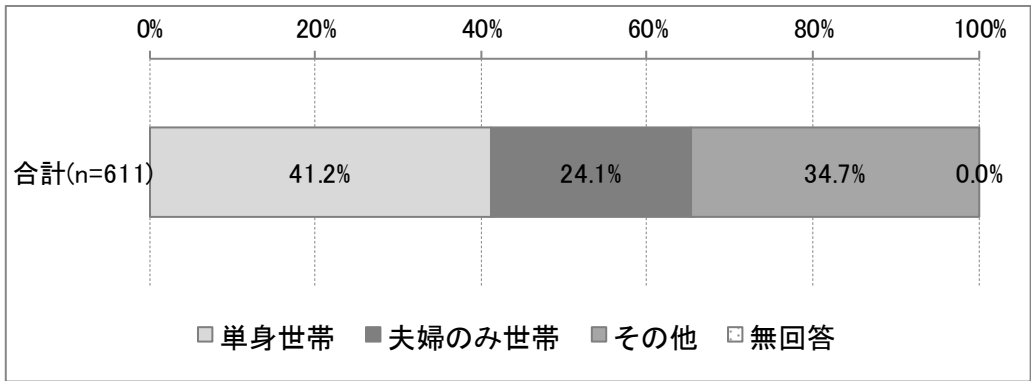


基本調査項目

(1) 世帯類型 (単数回答)

「単身世帯」の割合が最も高く 41.2%となっている。次いで、「その他 (34.7%)」、「夫婦のみ世帯 (24.1%)」となっている。

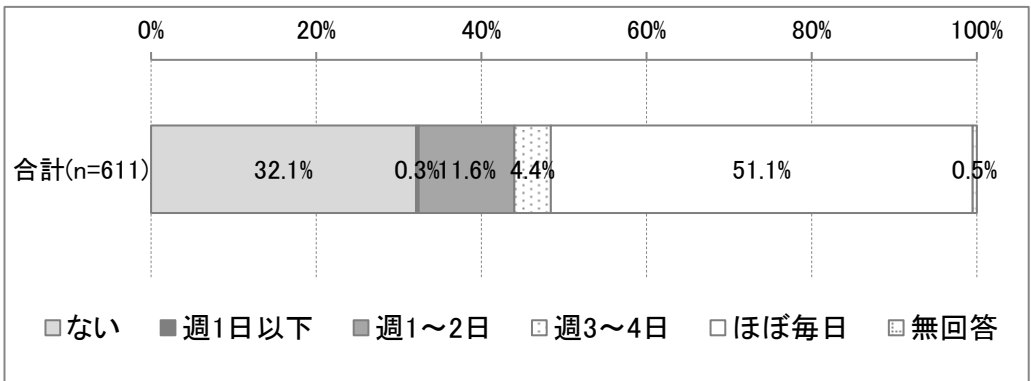
【図表 310】 世帯類型



(2) 家族等による介護の頻度 (単数回答)

「ほぼ毎日」の割合が最も高く 51.1%となっている。次いで、「ない (32.1%)」、「週 1~2 日 (11.6%)」となっている。

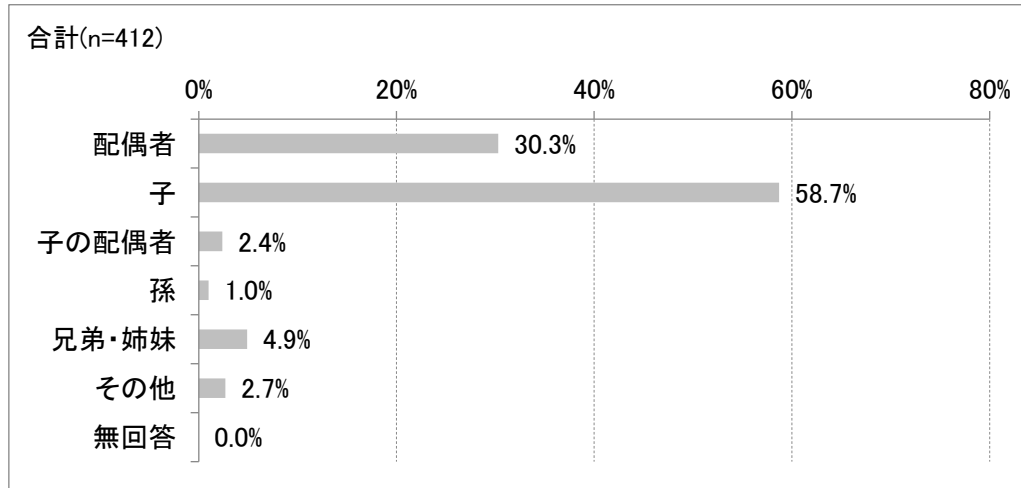
【図表 311】 家族等による介護の頻度



(3) 主な介護者の本人との関係（単数回答）

「子」の割合が最も高く 58.7%となっている。次いで、「配偶者（30.3%）」、「兄弟・姉妹（4.9%）」となっている。

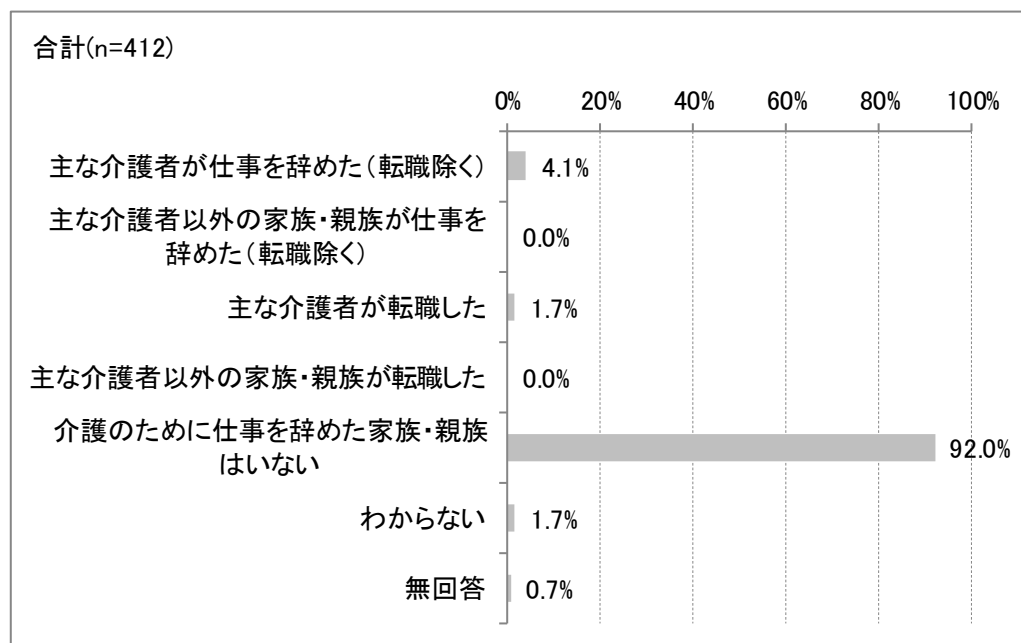
【図表 312】 主な介護者の本人との関係



(4) 介護のための離職の有無（複数回答）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く 92.0%となっている。次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）（4.1%）」、「主な介護者が転職した（1.7%）」、「わからない（1.7%）」となっている。

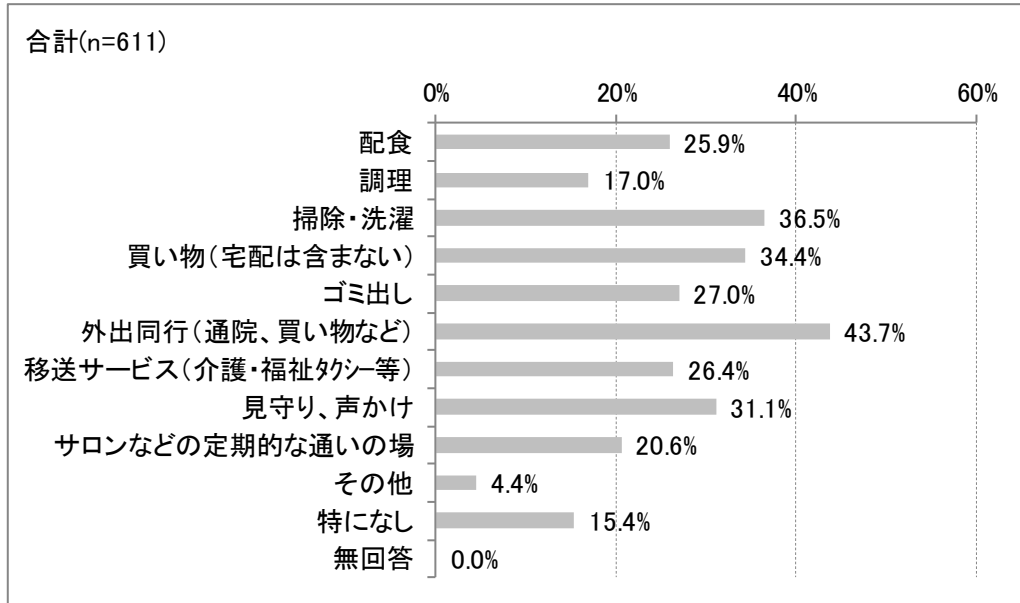
【図表 313】 介護のための離職の有無



(5) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答）

「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く 43.7%となっている。次いで、「掃除・洗濯（36.5%）」、「買い物（宅配は含まない）（34.4%）」となっている。

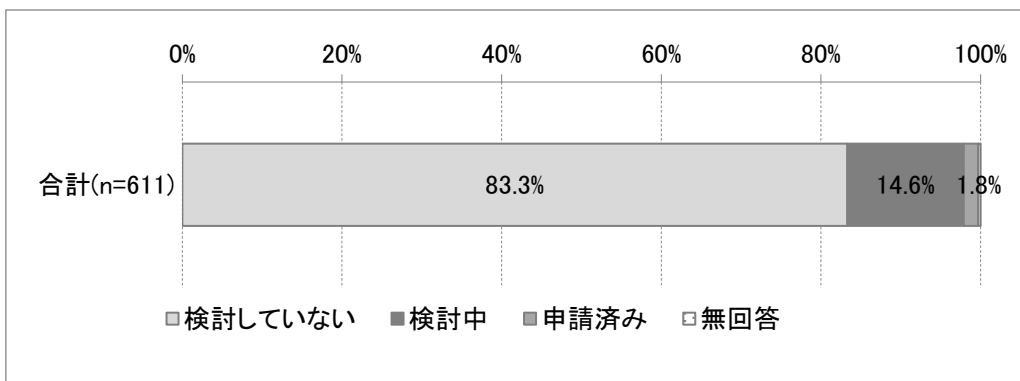
【図表 314】 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス



(6) 施設等検討の状況（単数回答）

「検討していない」の割合が最も高く 83.3%となっている。次いで、「検討中（14.6%）」、「申請済み（1.8%）」となっている。

【図表 315】 施設等検討の状況

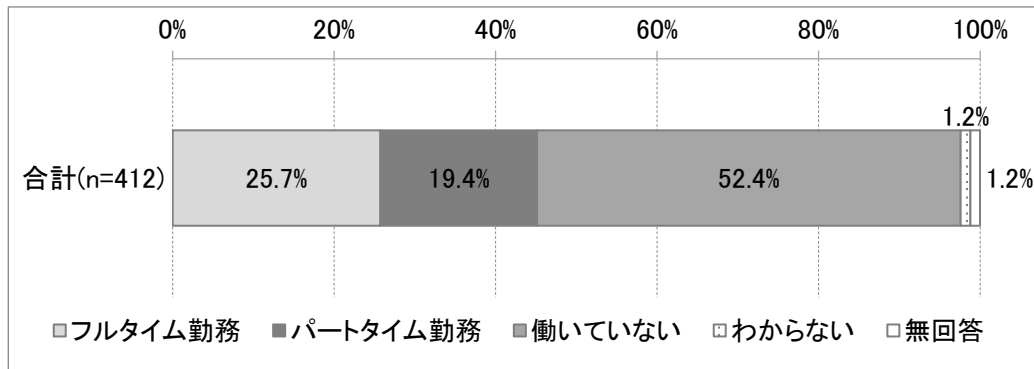


主な介護者の調査項目

(1) 主な介護者の勤務形態（単数回答）

「働いていない」の割合が最も高く 52.4%となっている。次いで、「フルタイム勤務（25.7%）」、「パートタイム勤務（19.4%）」となっている。

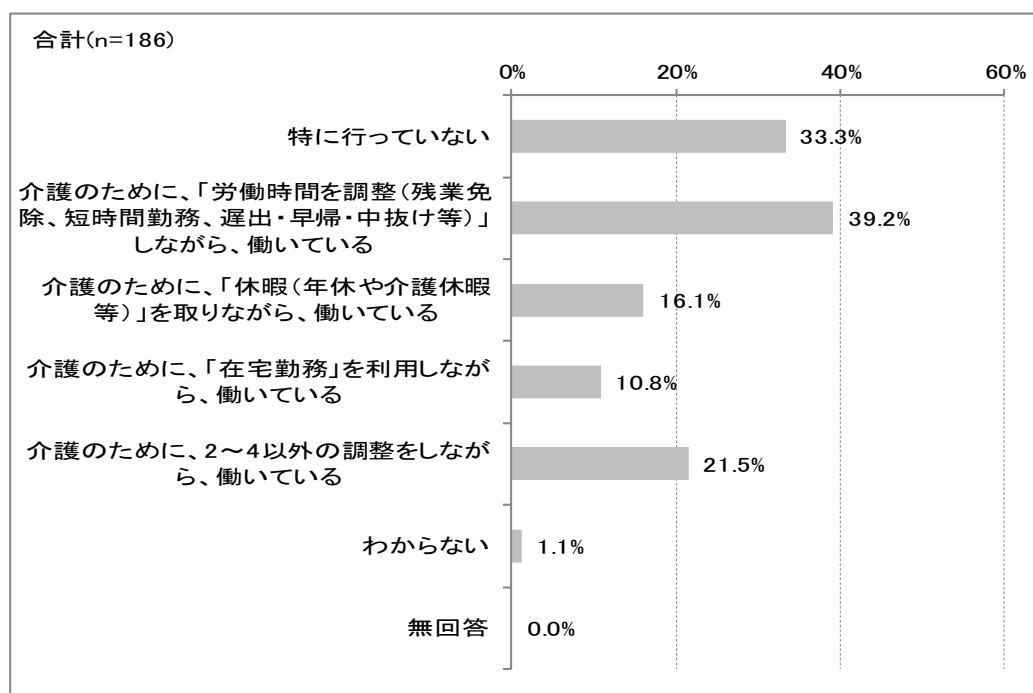
【図表 316】 主な介護者の勤務形態



(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況（複数回答）

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が最も高く 39.2%となっている。次いで、「特に行っていない（33.3%）」、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている（21.5%）」となっている。

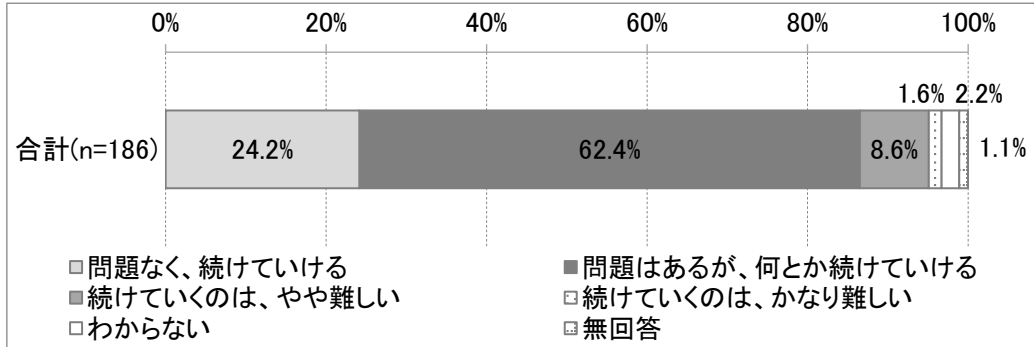
【図表 317】 主な介護者の働き方の調整状況



(3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識（単数回答）

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 62.4%となっている。次いで、「問題なく、続けていける (24.2%)」、「続けていくのは、やや難しい (8.6%)」となっている。

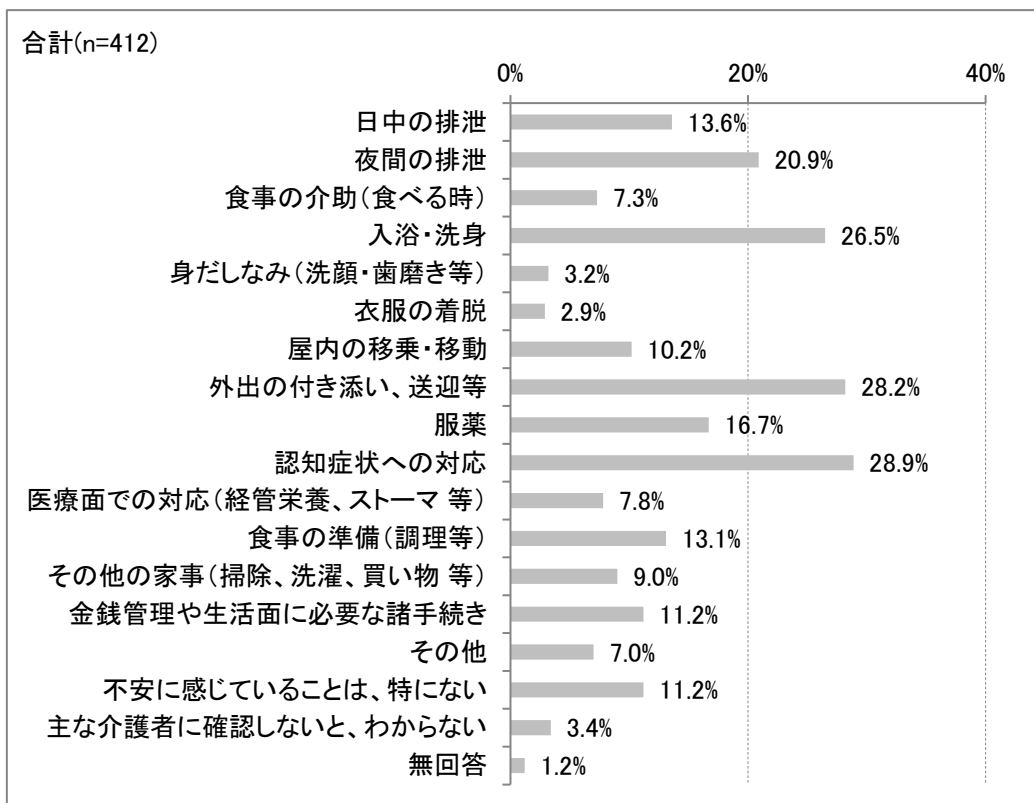
【図表 318】 主な介護者の就労継続の可否に係る意識



(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護（複数回答）

「認知症状への対応」の割合が最も高く 28.9%となっている。次いで、「外出の付き添い、送迎等 (28.2%)」、「入浴・洗身 (26.5%)」となっている。

【図表 319】 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護



2 調査結果の詳細（クロス集計結果）

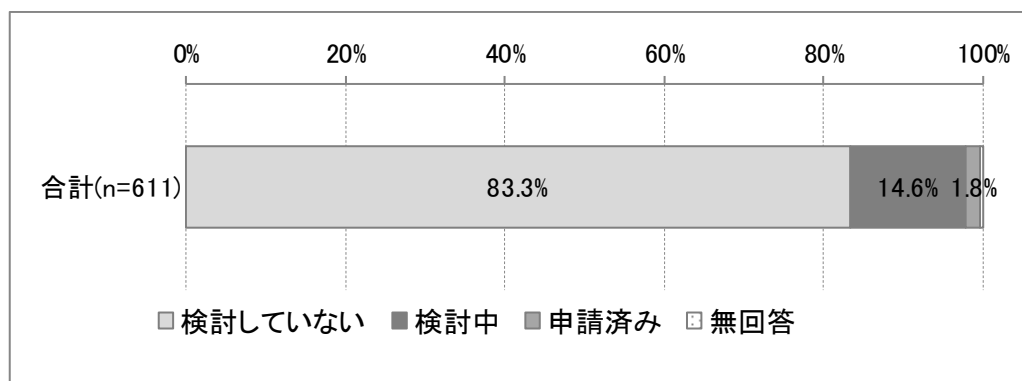
在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

(1) 基礎集計

【施設等検討の状況】

「検討していない」の割合が最も高く 83.3%となっている。次いで、「検討中（14.6%）」、「申請済み（1.8%）」となっている。

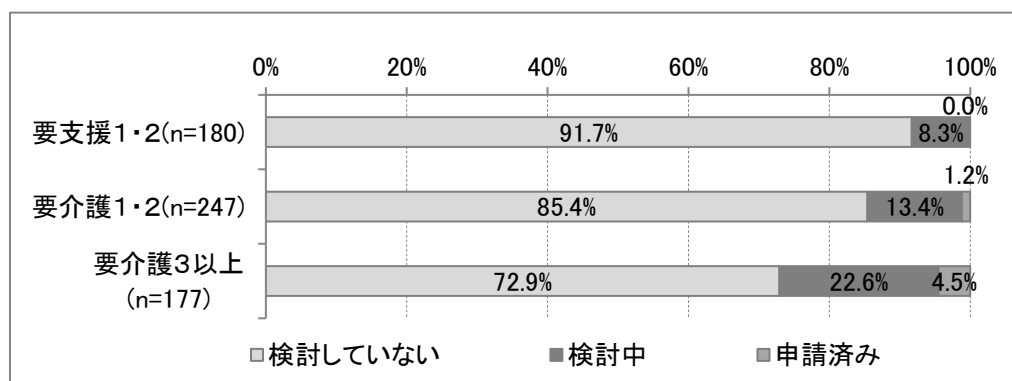
【図表 320】施設等検討の状況



【要介護度別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が 91.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 8.3%、「申請済み」が 0.0%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が 85.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 13.4%、「申請済み」が 1.2%となっている。「要介護3以上」では「検討していない」が 72.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 22.6%、「申請済み」が 4.5%となっている。

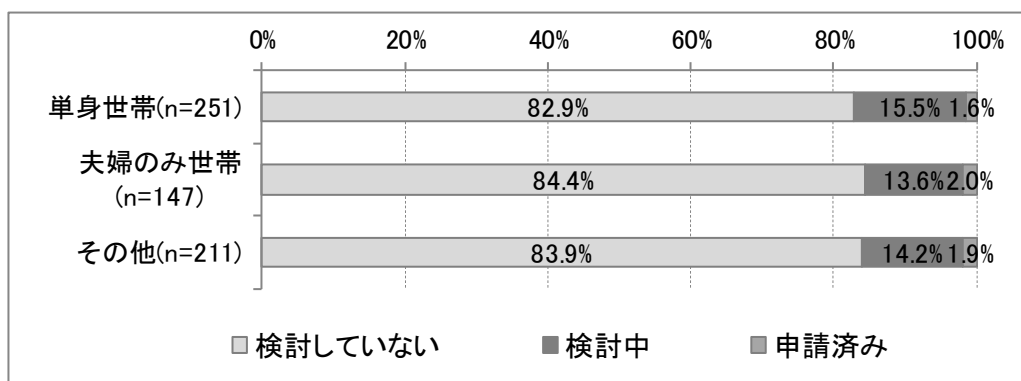
【図表 321】要介護度別・施設等検討の状況



【世帯類型別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が 82.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 15.5%、「申請済み」が 1.6%となっている。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が 84.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 13.6%、「申請済み」が 2.0%となっている。「その他」では「検討していない」が 83.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 14.2%、「申請済み」が 1.9%となっている。

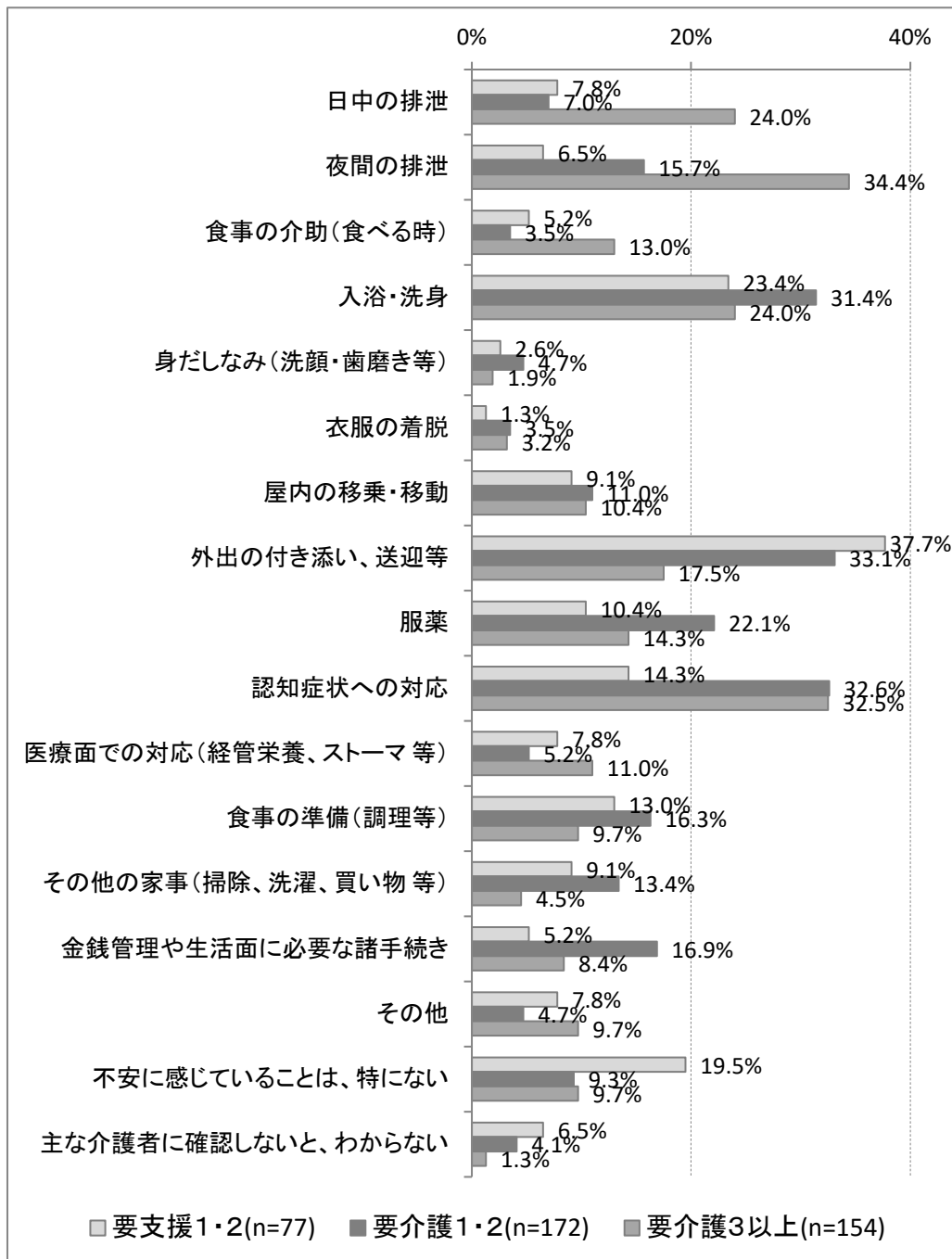
【図表 322】世帯類型別・施設等検討の状況



(2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化 【要介護度別・介護者が不安に感じる介護】

介護者が不安に感じる介護を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出の付き添い、送迎等」が37.7%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が23.4%、「不安に感じていることは、特にない」が19.5%となっている。「要介護1・2」では「外出の付き添い、送迎等」が33.1%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が32.6%、「入浴・洗身」が31.4%となっている。「要介護3以上」では「夜間の排泄」が34.4%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が32.5%、「日中の排泄」が24.0%となっている。

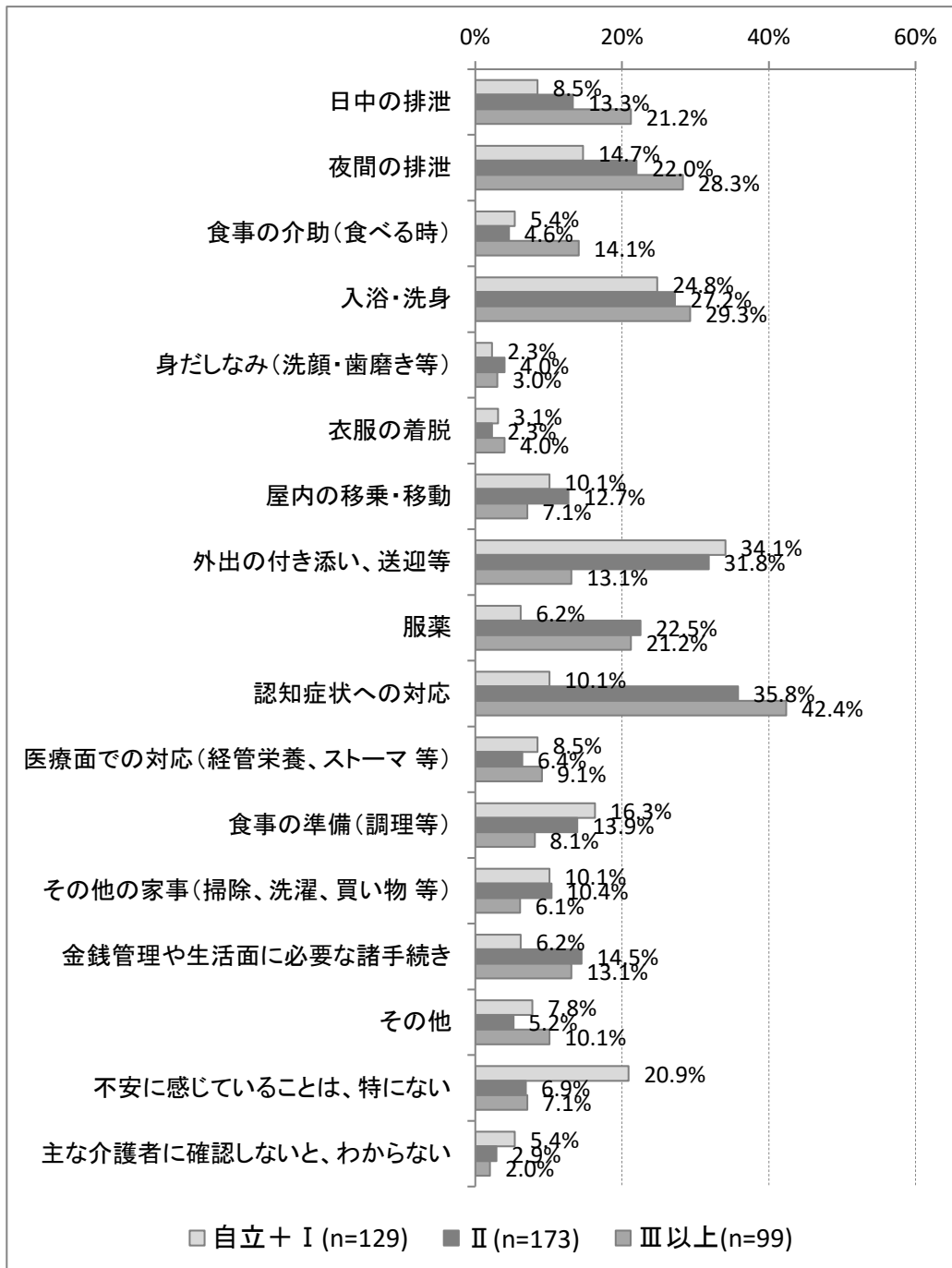
【図表 323】 要介護度別・介護者が不安に感じる介護



【認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護】

介護者が不安に感じる介護を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「外出の付き添い、送迎等」が34.1%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が24.8%、「不安に感じていることは、特にない」が20.9%となっている。「Ⅱ」では「認知症状への対応」が35.8%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が31.8%、「入浴・洗身」が27.2%となっている。「Ⅲ以上」では「認知症状への対応」が42.4%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が29.3%、「夜間の排泄」が28.3%となっている。

【図表 324】 認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護

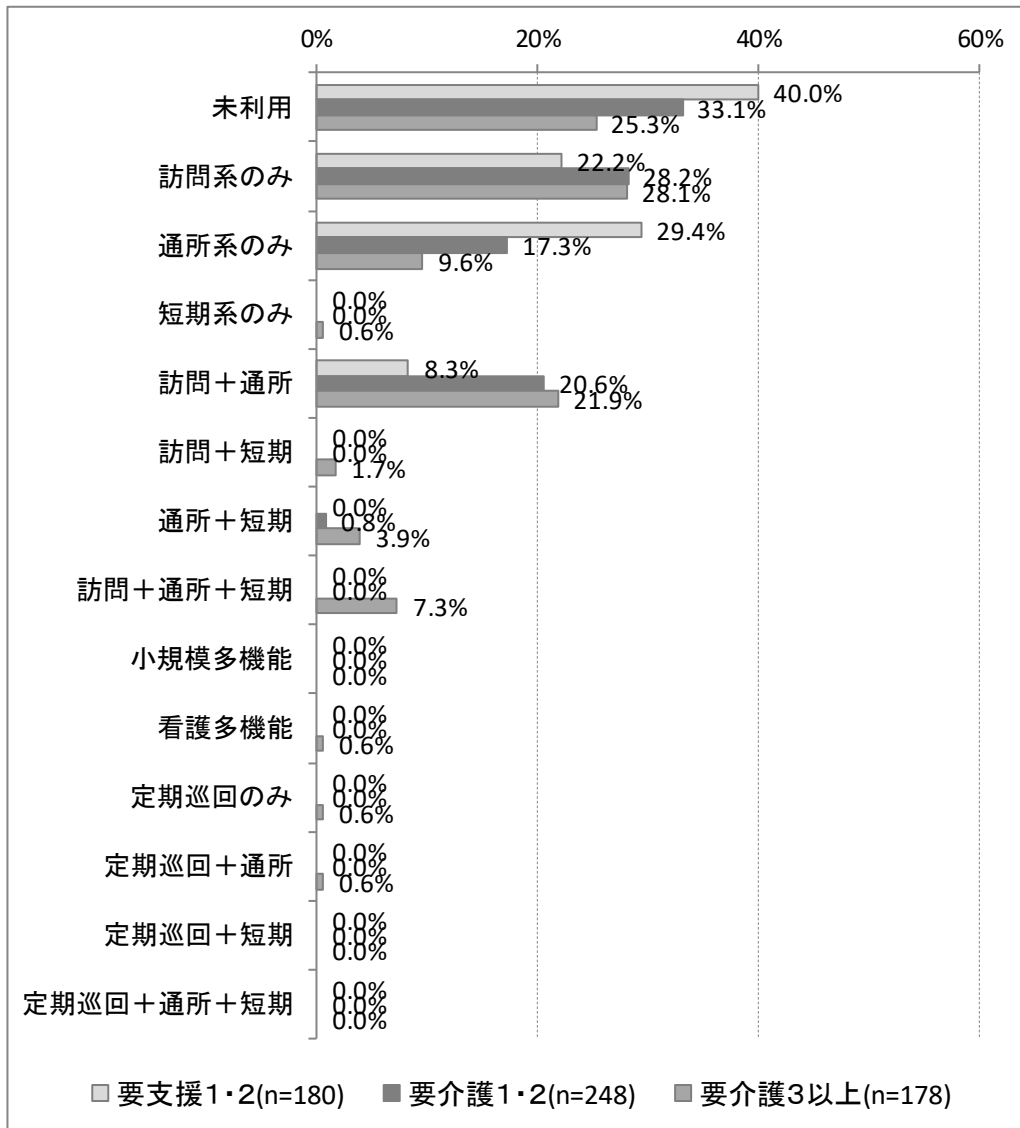


(3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が40.0%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が29.4%、「訪問系のみ」が22.2%となっている。「要介護1・2」では「未利用」が33.1%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が28.2%、「訪問+通所」が20.6%となっている。「要介護3以上」では「訪問系のみ」が28.1%と最も割合が高く、次いで「未利用」が25.3%、「訪問+通所」が21.9%となっている。

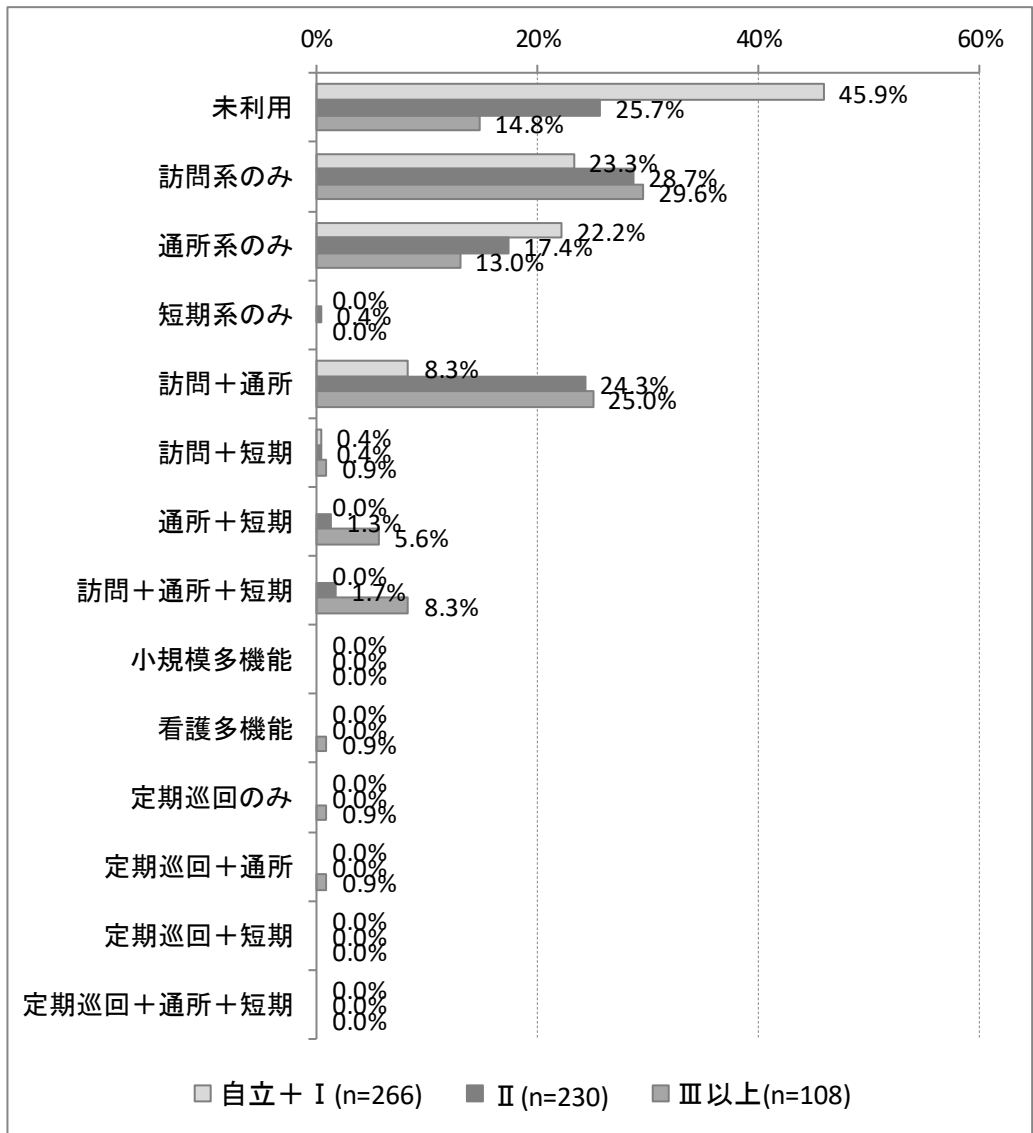
【図表 325】 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「未利用」が45.9%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が23.3%、「通所系のみ」が22.2%となっている。「II」では「訪問系のみ」が28.7%と最も割合が高く、次いで「未利用」が25.7%、「訪問+通所」が24.3%となっている。「III以上」では「訪問系のみ」が29.6%と最も割合が高く、次いで「訪問+通所」が25.0%、「未利用」が14.8%となっている。

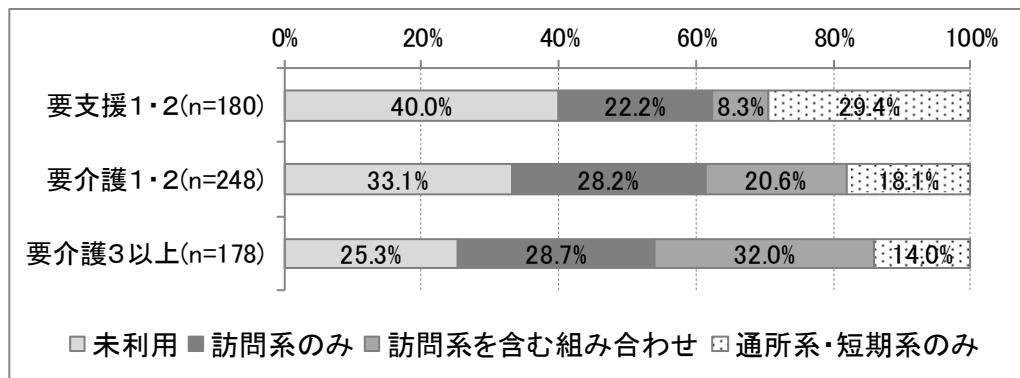
【図表 326】 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が29.4%、「訪問系のみ」が22.2%となっている。「要介護1・2」では「未利用」が33.1%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が28.2%、「訪問系を含む組み合わせ」が20.6%となっている。「要介護3以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が32.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が28.7%、「未利用」が25.3%となっている。

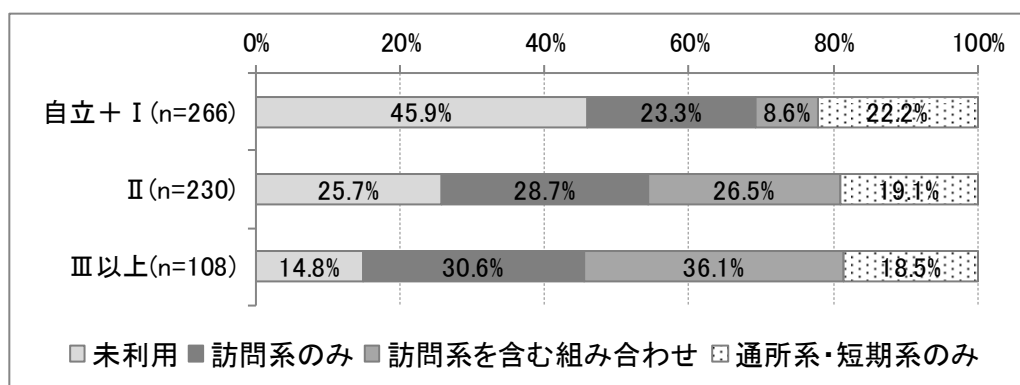
【図表 327】 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「未利用」が45.9%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が23.3%、「通所系・短期系のみ」が22.2%となっている。「Ⅱ」では「訪問系のみ」が28.7%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が26.5%、「未利用」が25.7%となっている。「Ⅲ以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が36.1%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が30.6%、「通所系・短期系のみ」が18.5%となっている。

【図表 328】 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ

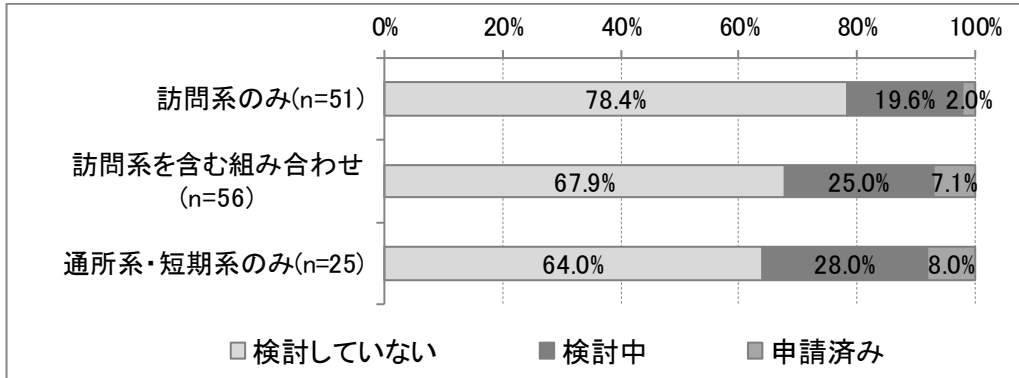


(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が78.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が19.6%、「申請済み」が2.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が67.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が25.0%、「申請済み」が7.1%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が64.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が28.0%、「申請済み」が8.0%となっている。

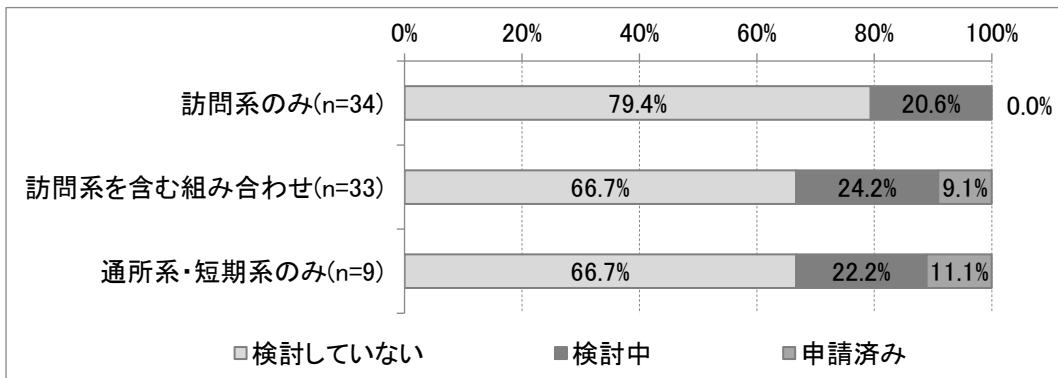
【図表 329】 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が79.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が20.6%、「申請済み」が0.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が24.2%、「申請済み」が9.1%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が22.2%、「申請済み」が11.1%となっている。

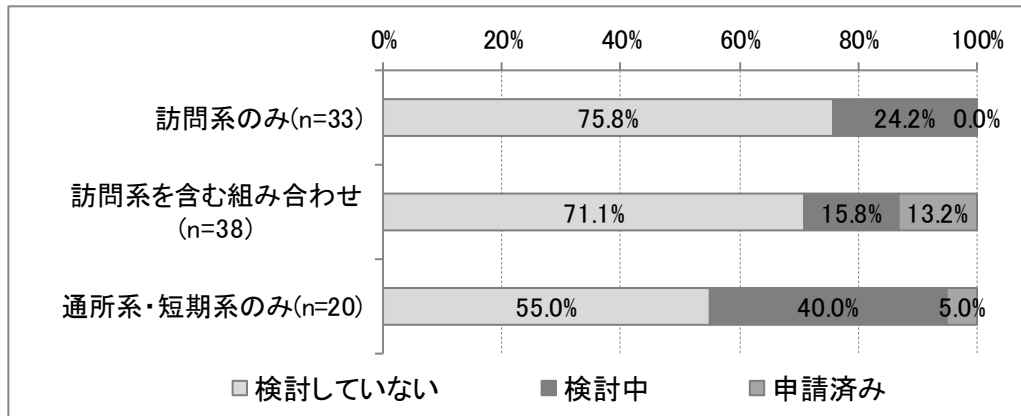
【図表 330】 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が75.8%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が24.2%、「申請済み」が0.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が71.1%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が15.8%、「申請済み」が13.2%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が55.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が40.0%、「申請済み」が5.0%となっている。

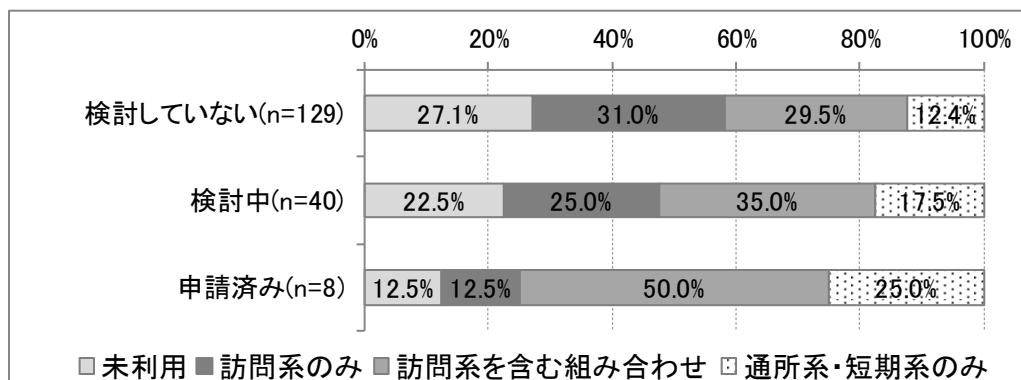
【図表 331】 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「訪問系のみ」が31.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が29.5%、「未利用」が27.1%となっている。「検討中」では「訪問系を含む組み合わせ」が35.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が25.0%、「未利用」が22.5%となっている。「申請済み」では「訪問系を含む組み合わせ」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が25.0%、「未利用」が12.5%となっている。

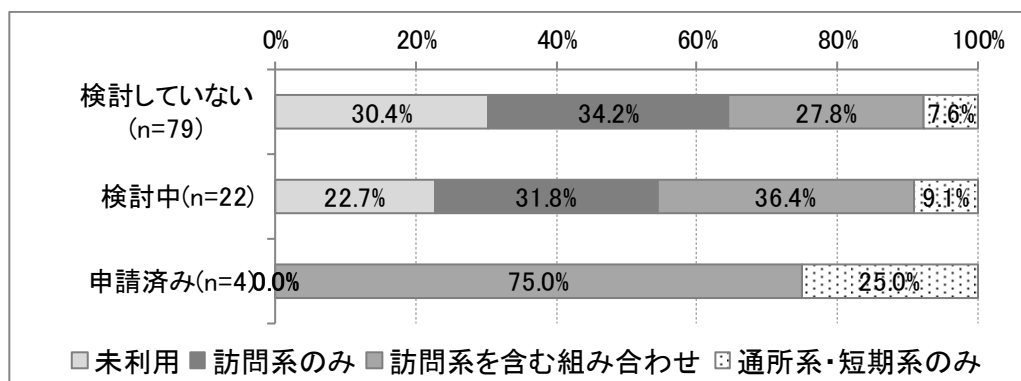
【図表 332】 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「訪問系のみ」が34.2%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が30.4%、「訪問系を含む組み合わせ」が27.8%となっている。「検討中」では「訪問系を含む組み合わせ」が36.4%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が31.8%、「未利用」が22.7%となっている。「申請済み」では「訪問系を含む組み合わせ」が75.0%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が25.0%、「未利用」、「訪問系のみ」が0.0%となっている。

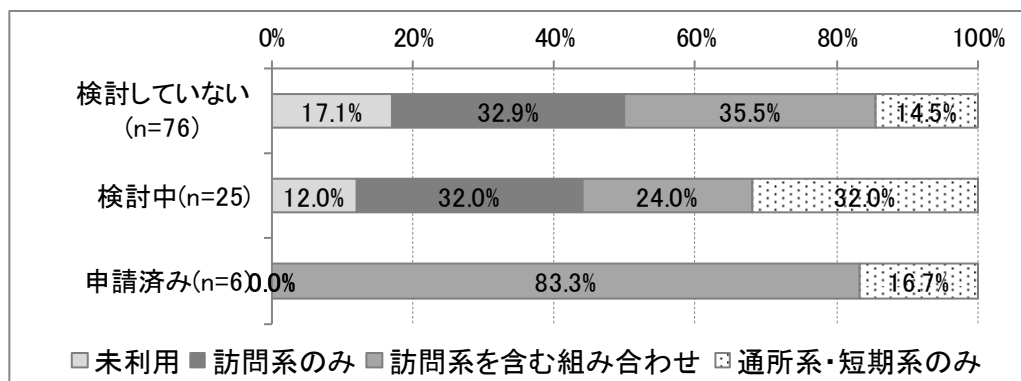
【図表 333】 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「訪問系を含む組み合わせ」が35.5%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が32.9%、「未利用」が17.1%となっている。「検討中」では「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」が32.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が24.0%、「未利用」が12.0%となっている。「申請済み」では「訪問系を含む組み合わせ」が83.3%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が16.7%、「未利用」、「訪問系のみ」が0.0%となっている。

【図表 334】 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）

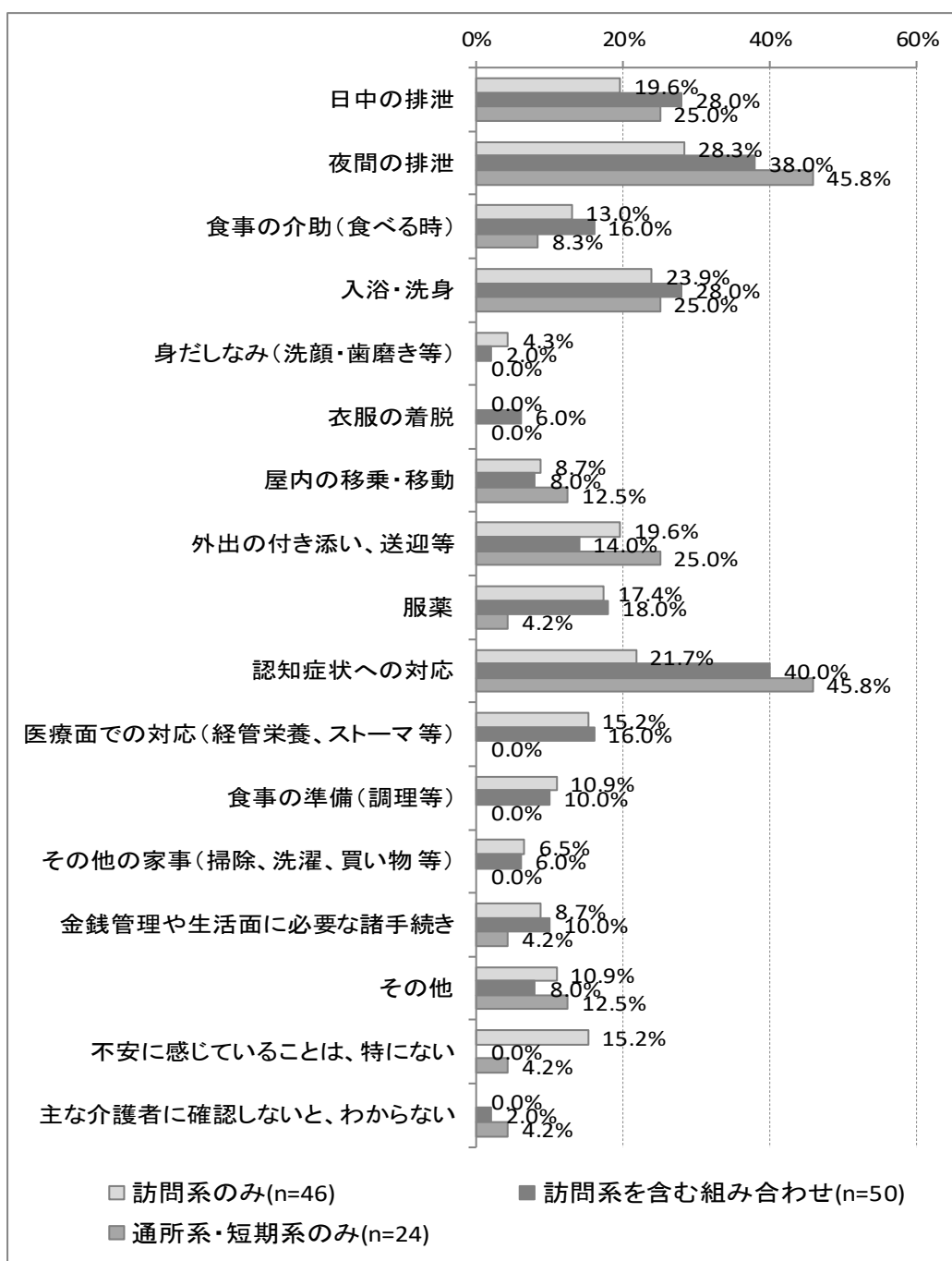


(5) 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安を感じる介護」の関係

【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）】

介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「夜間の排泄」が 28.3%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」が 23.9%、「認知症状への対応」が 21.7%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「認知症状への対応」が 40.0%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が 38.0%、「日中の排泄」、「入浴・洗身」が 28.0%となっている。「通所系・短期系のみ」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が 45.8%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」が 25.0%、「屋内の移乗・移動」、「その他」が 12.5%となっている。

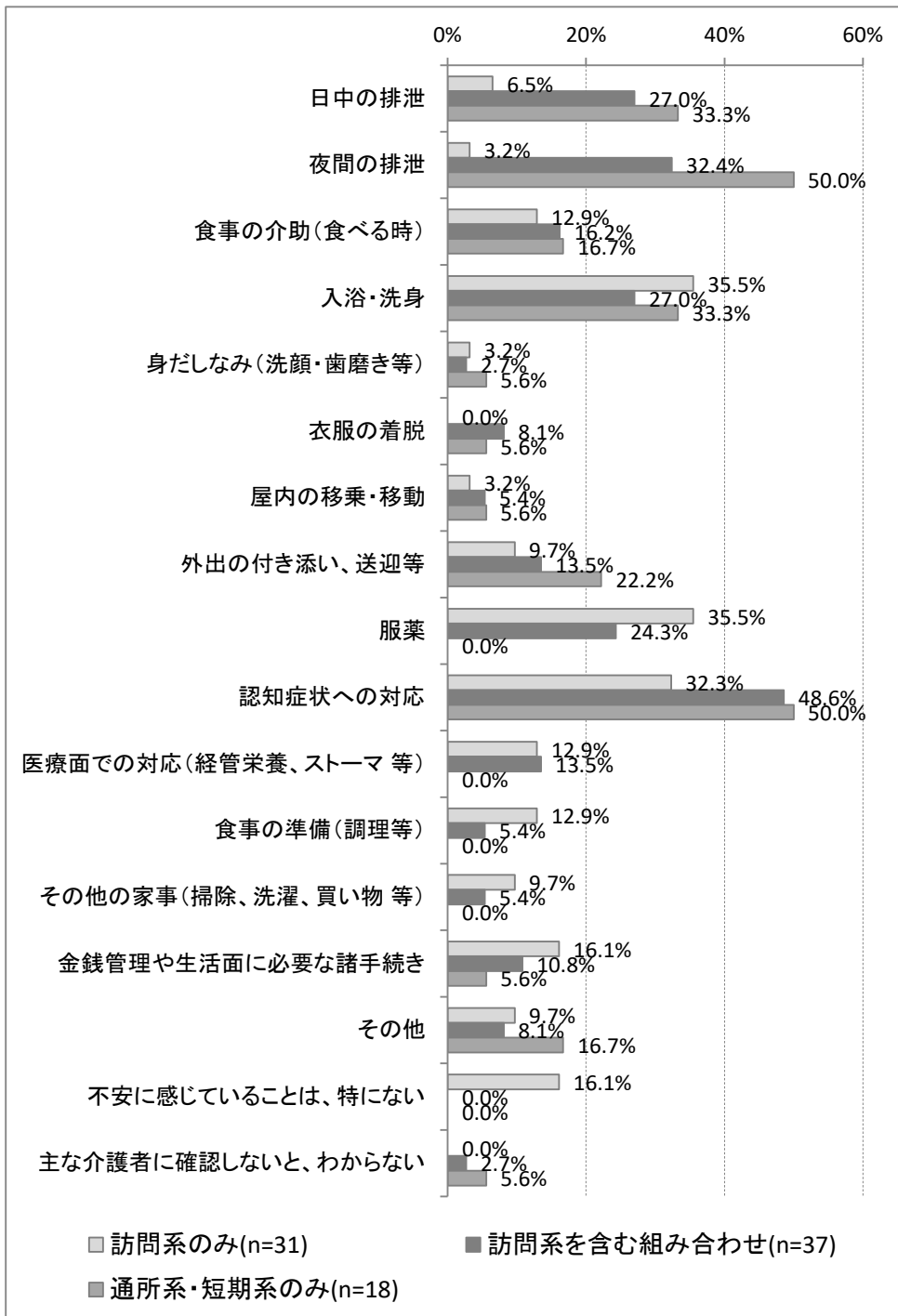
【図表 335】 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）



【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「入浴・洗身」、「服薬」が35.5%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が32.3%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「不安に感じていることは、特にない」が16.1%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「認知症状への対応」が48.6%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が32.4%、「日中の排泄」、「入浴・洗身」が27.0%となっている。「通所系・短期系のみ」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が50.0%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「入浴・洗身」が33.3%、「外出の付き添い、送迎等」が22.2%となっている。

【図表 336】 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）

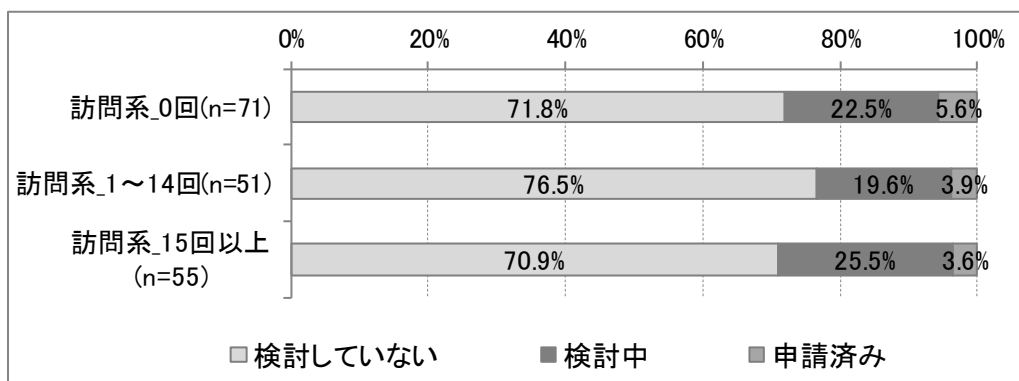


(6) 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

【サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「検討していない」が71.8%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が22.5%、「申請済み」が5.6%となっている。「訪問系_1～14回」では「検討していない」が76.5%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が19.6%、「申請済み」が3.9%となっている。「訪問系_15回以上」では「検討していない」が70.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が25.5%、「申請済み」が3.6%となっている。

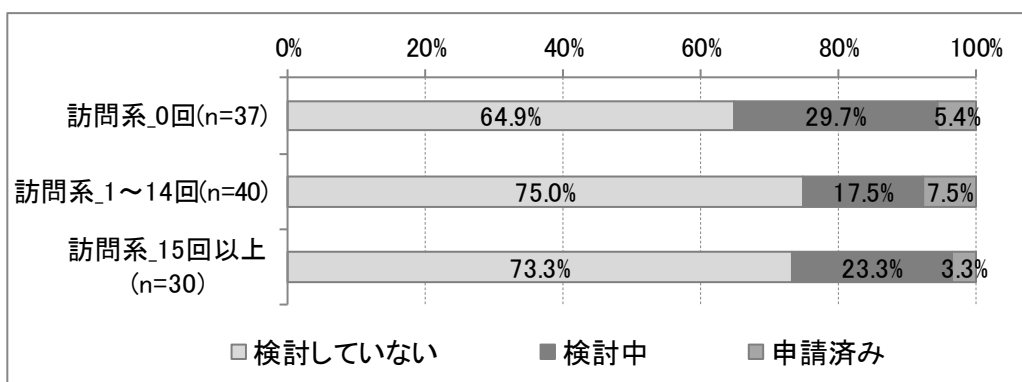
【図表 337】 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「検討していない」が64.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が29.7%、「申請済み」が5.4%となっている。「訪問系_1～14回」では「検討していない」が75.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が17.5%、「申請済み」が7.5%となっている。「訪問系_15回以上」では「検討していない」が73.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が23.3%、「申請済み」が3.3%となっている。

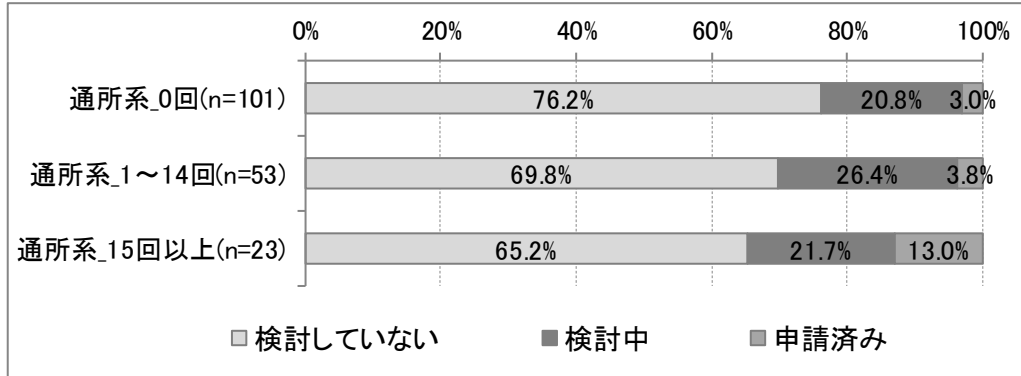
【図表 338】 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護3以上）】

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「検討していない」が76.2%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が20.8%、「申請済み」が3.0%となっている。「通所系_1~14回」では「検討していない」が69.8%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が26.4%、「申請済み」が3.8%となっている。「通所系_15回以上」では「検討していない」が65.2%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が21.7%、「申請済み」が13.0%となっている。

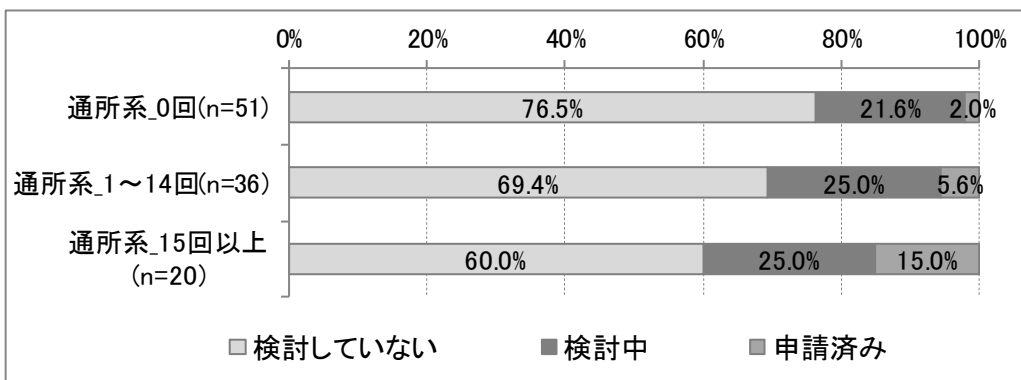
【図表 339】 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護3以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「検討していない」が76.5%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が21.6%、「申請済み」が2.0%となっている。「通所系_1~14回」では「検討していない」が69.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が25.0%、「申請済み」が5.6%となっている。「通所系_15回以上」では「検討していない」が60.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が25.0%、「申請済み」が15.0%となっている。

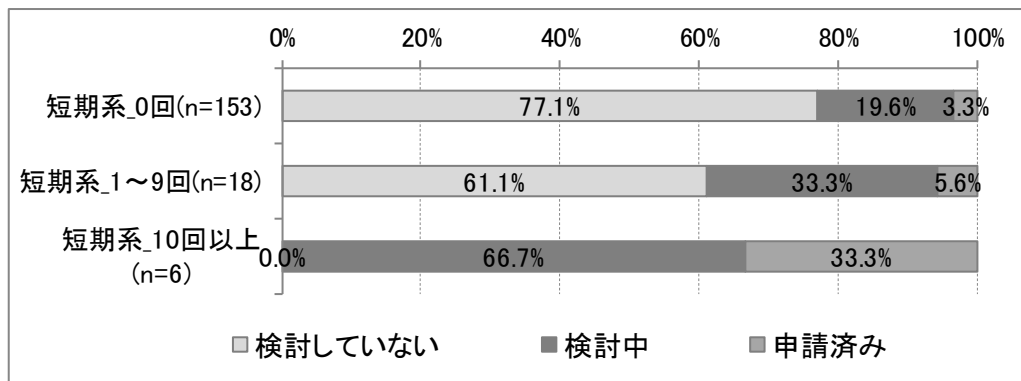
【図表 340】 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護3以上）】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「検討していない」が77.1%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が19.6%、「申請済み」が3.3%となっている。「短期系_1～9回」では「検討していない」が61.1%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が33.3%、「申請済み」が5.6%となっている。「短期系_10回以上」では「検討中」が66.7%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が33.3%、「検討していない」が0.0%となっている。

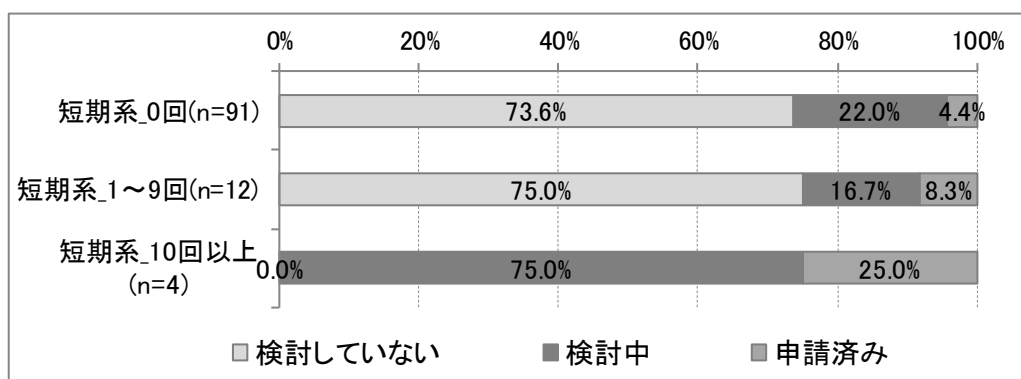
【図表 341】 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護3以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「検討していない」が73.6%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が22.0%、「申請済み」が4.4%となっている。「短期系_1～9回」では「検討していない」が75.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が16.7%、「申請済み」が8.3%となっている。「短期系_10回以上」では「検討中」が75.0%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が25.0%、「検討していない」が0.0%となっている。

【図表 342】 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）

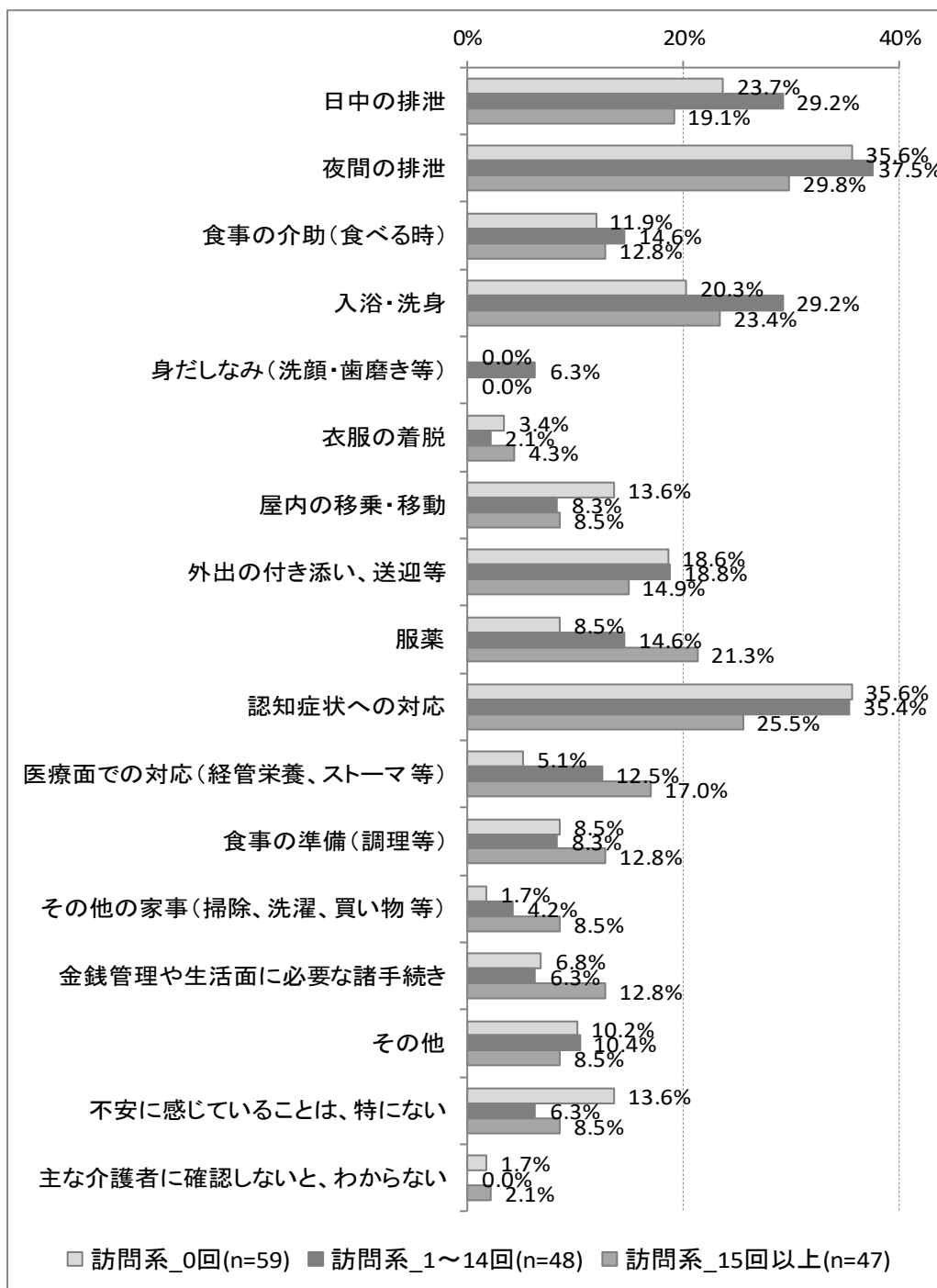


(7) 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安を感じる介護」の関係

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）】

介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が35.6%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が23.7%、「入浴・洗身」が20.3%となっている。「訪問系_1~14回」では「夜間の排泄」が37.5%ともっとも割合が高く、次いで「認知症状への対応」が35.4%、「日中の排泄」、「入浴・洗身」が29.2%となっている。「訪問系_15回以上」では「夜間の排泄」が29.8%ともっとも割合が高く、次いで「認知症状への対応」が25.5%、「入浴・洗身」が23.4%となっている。

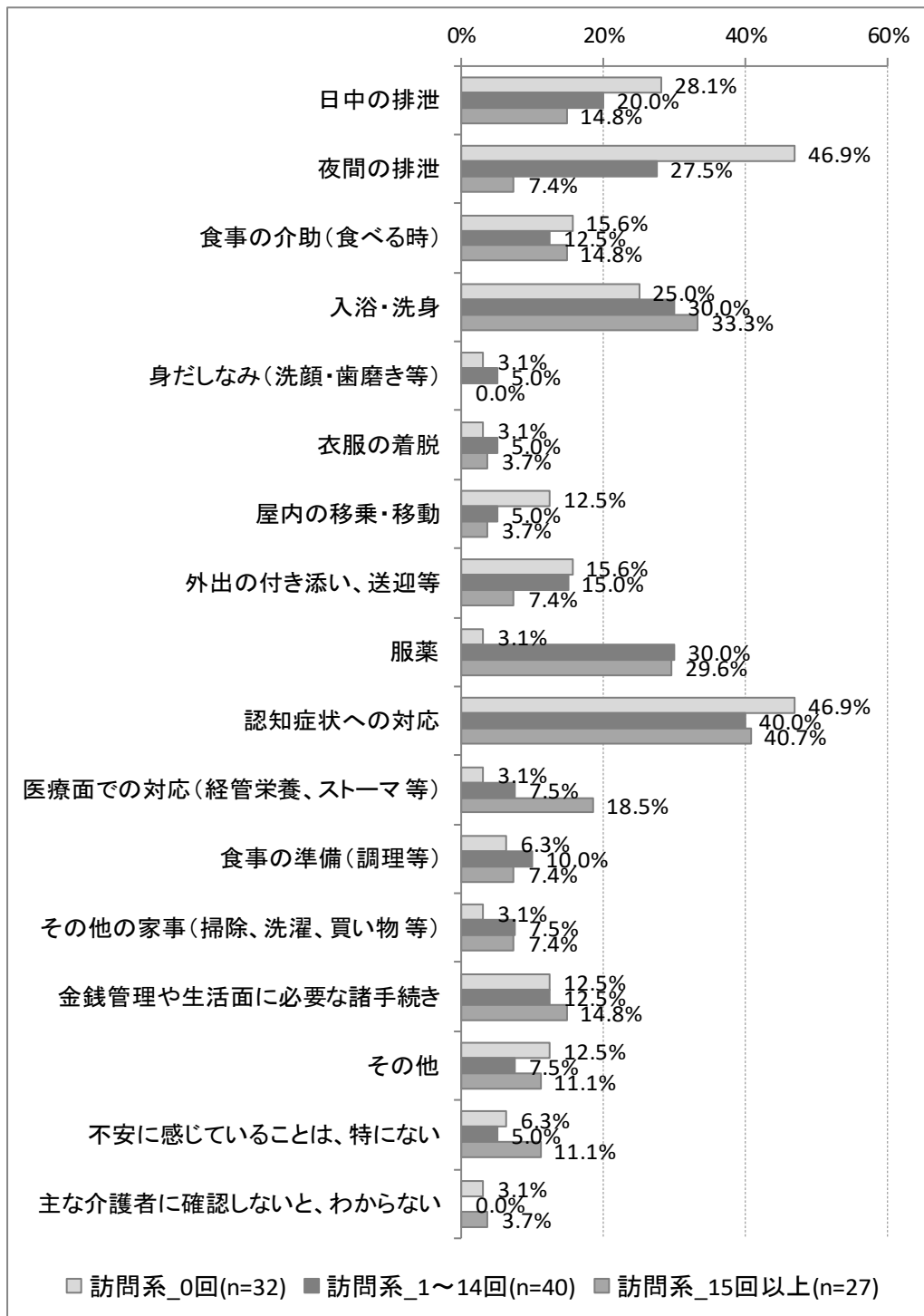
【図表 343】 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が46.9%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が28.1%、「入浴・洗身」が25.0%となっている。「訪問系_1～14回」では「認知症状への対応」が40.0%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」、「服薬」が30.0%、「夜間の排泄」が27.5%となっている。「訪問系_15回以上」では「認知症状への対応」が40.7%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が33.3%、「服薬」が29.6%となっている。

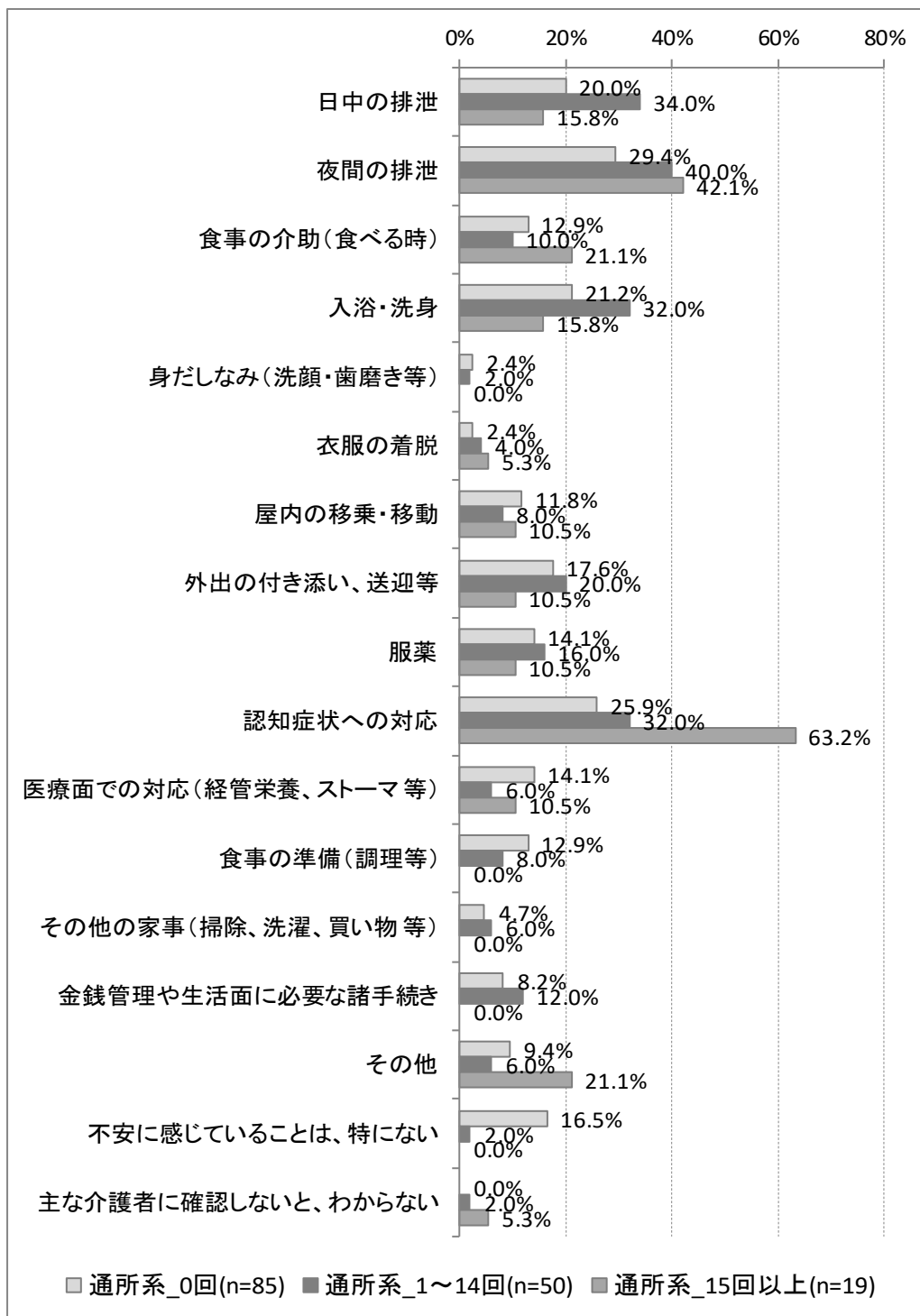
【図表 344】 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）】

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「夜間の排泄」が29.4%ともっとも割合が高く、次いで「認知症状への対応」が25.9%、「入浴・洗身」が21.2%となっている。「通所系_1~14回」では「夜間の排泄」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が34.0%、「入浴・洗身」、「認知症状への対応」が32.0%となっている。「通所系_15回以上」では「認知症状への対応」が63.2%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が42.1%、「食事の介助（食べる時）」、「その他」が21.1%となっている。

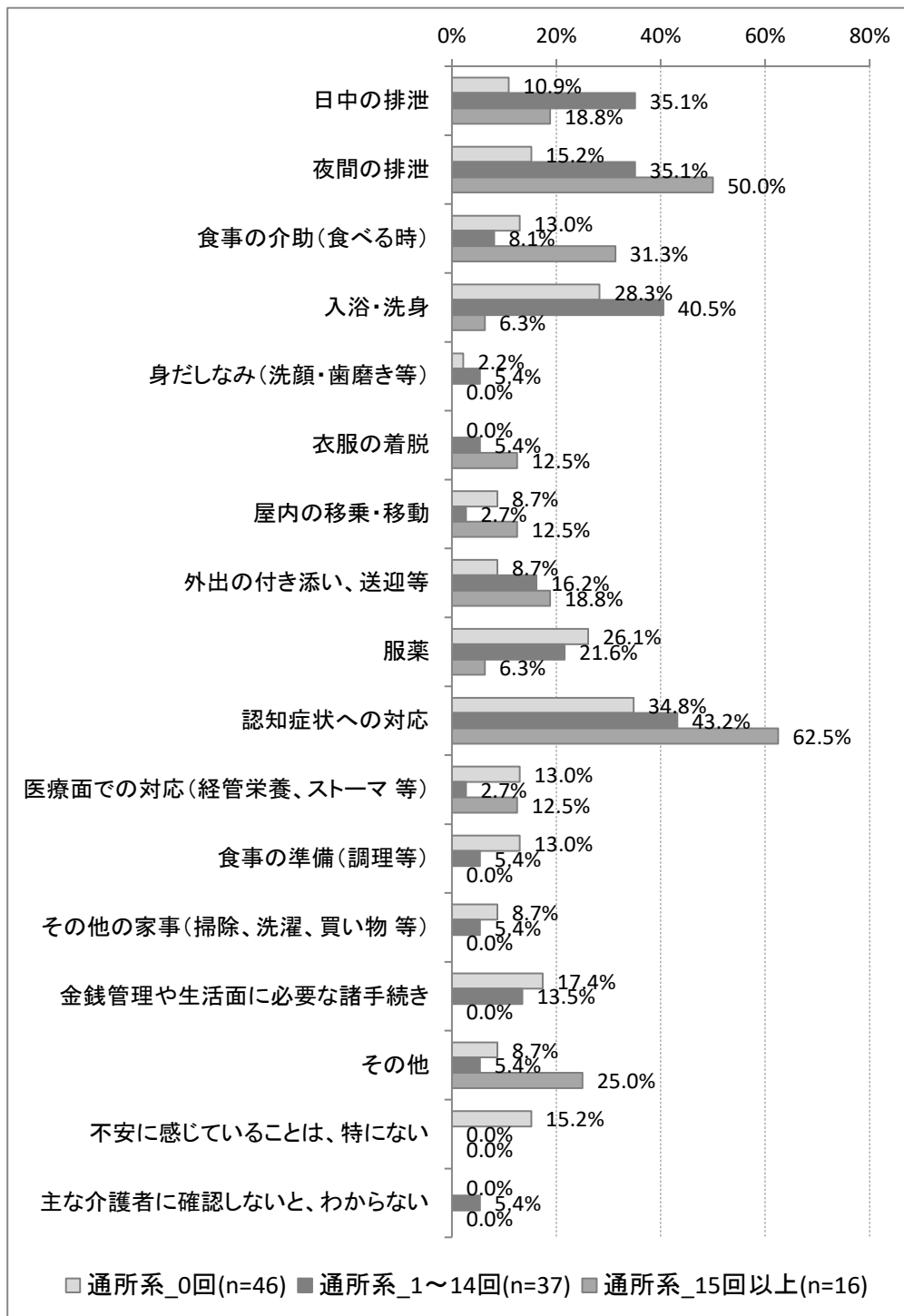
【図表 345】 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「認知症状への対応」が34.8%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」が28.3%、「服薬」が26.1%となっている。「通所系_1~14回」では「認知症状への対応」が43.2%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」が40.5%、「日中の排泄」、「夜間の排泄」が35.1%となっている。「通所系_15回以上」では「認知症状への対応」が62.5%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が50.0%、「食事の介助（食べる時）」が31.3%となっている。

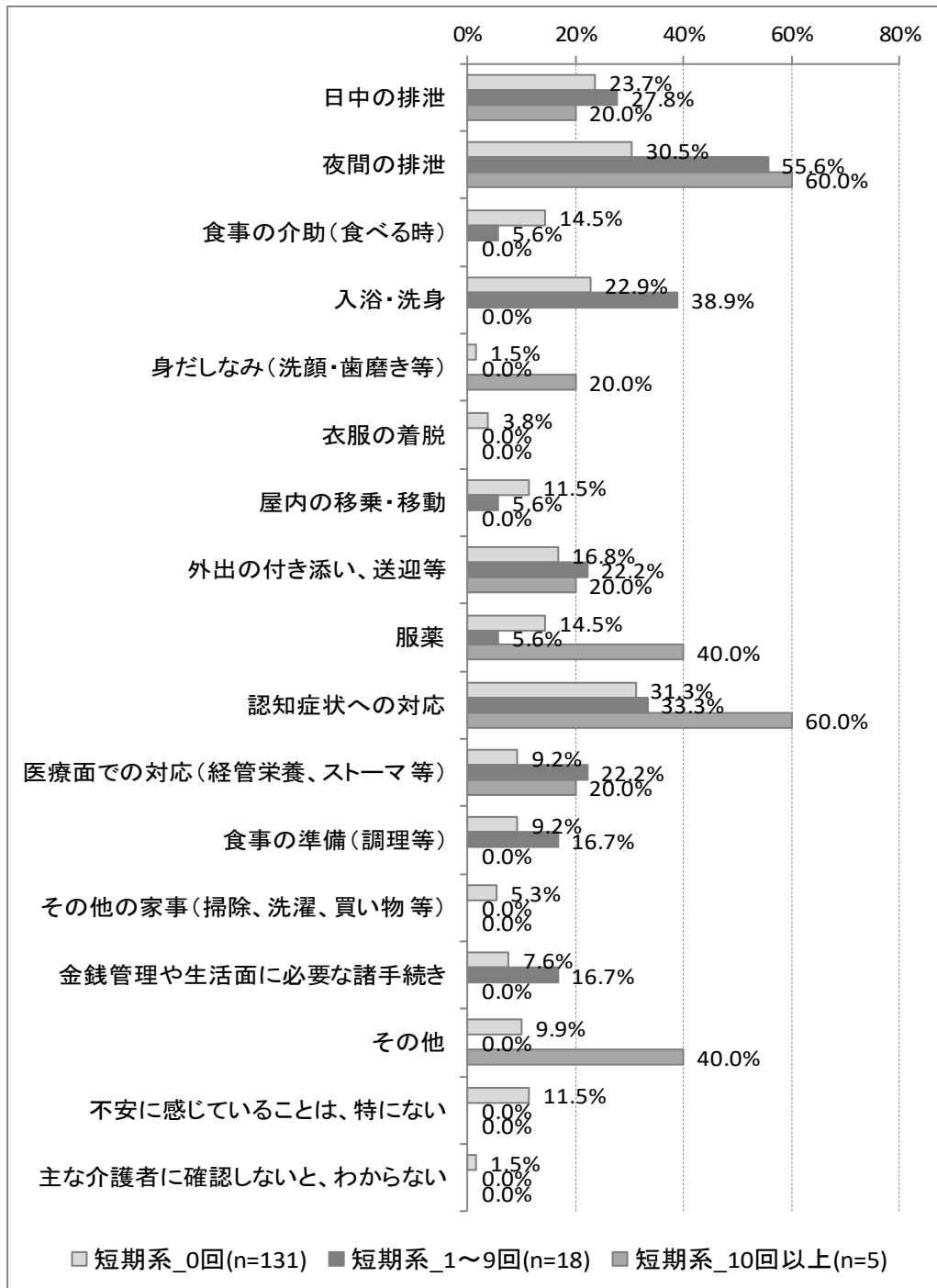
【図表 346】 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）】

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「認知症状への対応」が31.3%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が30.5%、「日中の排泄」が23.7%となっている。「短期系_1~9回」では「夜間の排泄」が55.6%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が38.9%、「認知症状への対応」が33.3%となっている。「短期系_10回以上」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が60.0%と最も割合が高く、次いで「服薬」、「その他」が40.0%、「日中の排泄」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「外出の付き添い、送迎等」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が20.0%となっている。

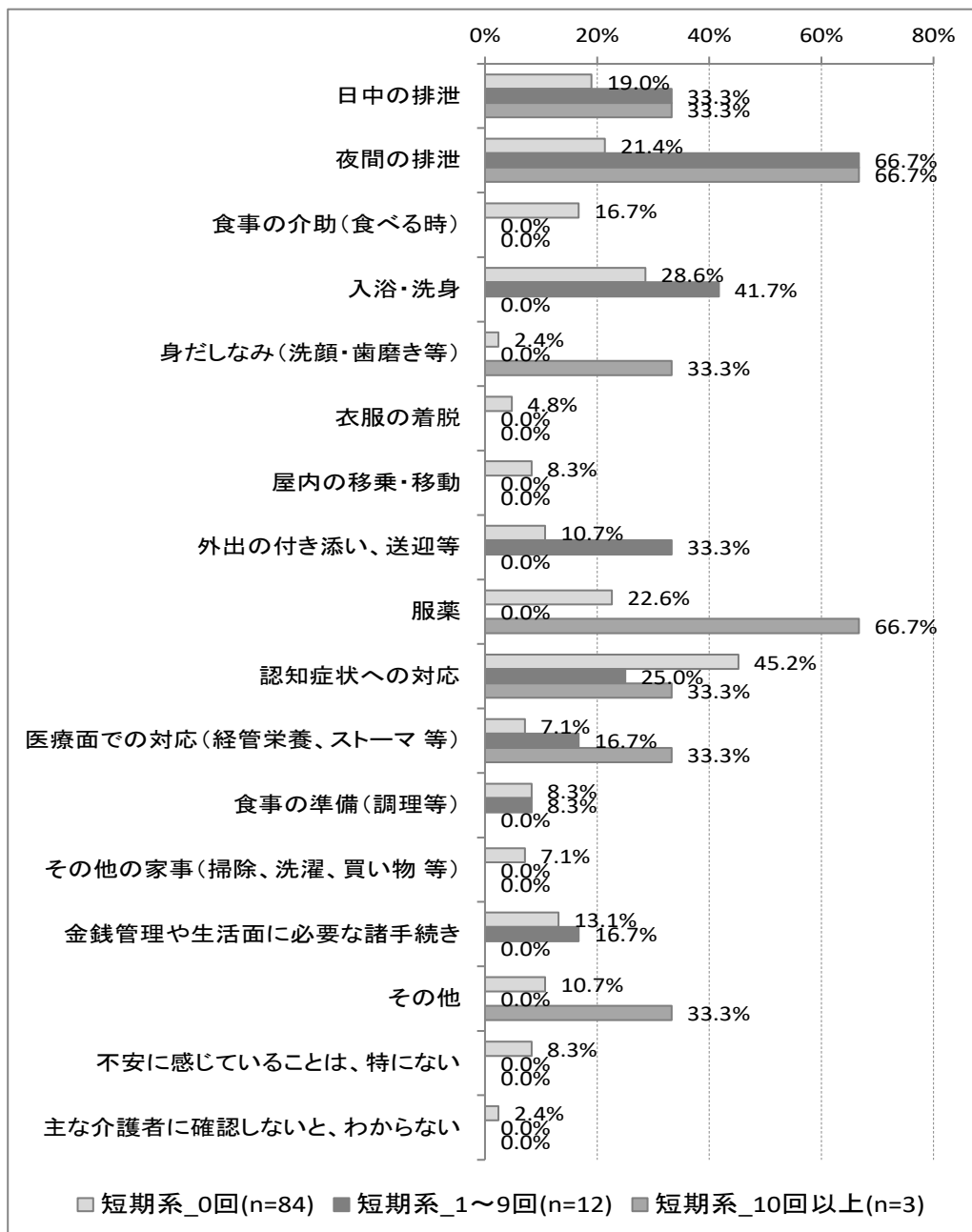
【図表 347】 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「認知症状への対応」が45.2%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が28.6%、「服薬」が22.6%となっている。「短期系_1～9回」では「夜間の排泄」が66.7%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が41.7%、「日中の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が33.3%となっている。「短期系_10回以上」では「夜間の排泄」、「服薬」が66.7%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「認知症状への対応」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」、「その他」が33.3%、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が0.0%となっている。

【図表 348】 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）



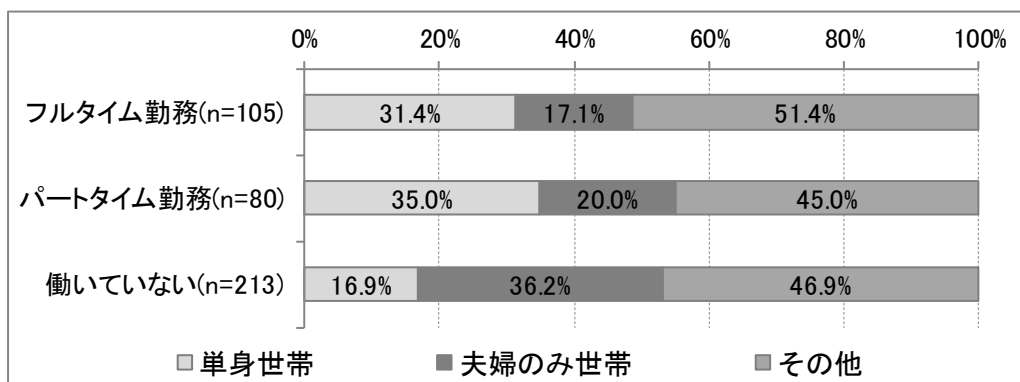
仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

(1) 基本集計

【就労状況別・世帯類型】

世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他」が 51.4%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が 31.4%、「夫婦のみ世帯」が 17.1%となっている。「パートタイム勤務」では「その他」が 45.0%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が 35.0%、「夫婦のみ世帯」が 20.0%となっている。「働いていない」では「その他」が 46.9%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が 36.2%、「単身世帯」が 16.9%となっている。

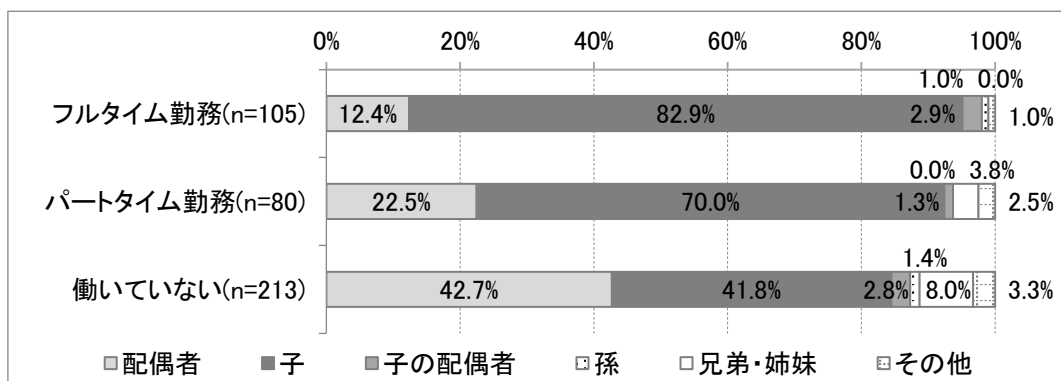
【図表 349】 就労状況別・世帯類型



【就労状況別・主な介護者の本人との関係】

主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「子」が 82.9%と最も割合が高く、次いで「配偶者」が 12.4%、「子の配偶者」が 2.9%となっている。「パートタイム勤務」では「子」が 70.0%と最も割合が高く、次いで「配偶者」が 22.5%、「兄弟・姉妹」が 3.8%となっている。「働いていない」では「配偶者」が 42.7%と最も割合が高く、次いで「子」が 41.8%、「兄弟・姉妹」が 8.0%となっている。

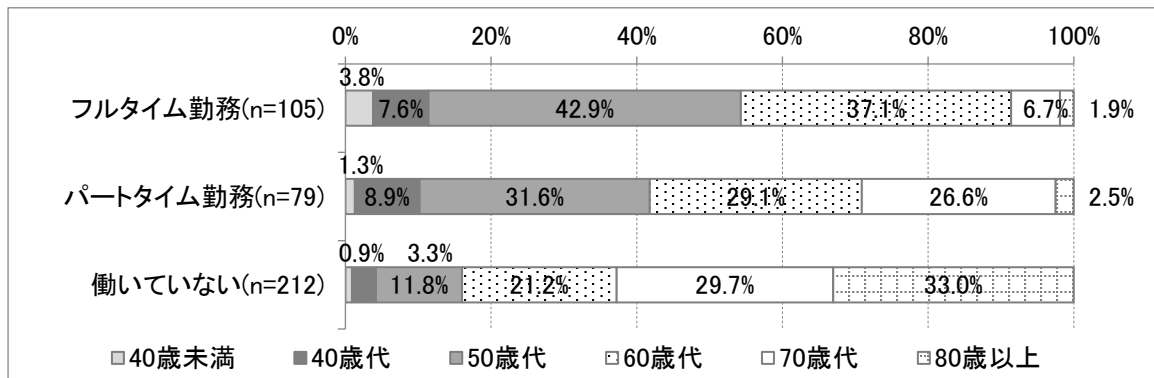
【図表 350】 就労状況別・主な介護者の本人との関係



【就労状況別・主な介護者の年齢】

介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「50歳代」が42.9%ともっとも割合が高く、次いで「60歳代」が37.1%、「40歳代」が7.6%となっている。「パートタイム勤務」では「50歳代」が31.6%ともっとも割合が高く、次いで「60歳代」が29.1%、「70歳代」が26.6%となっている。「働いていない」では「80歳以上」が33.0%ともっとも割合が高く、次いで「70歳代」が29.7%、「60歳代」が21.2%となっている。

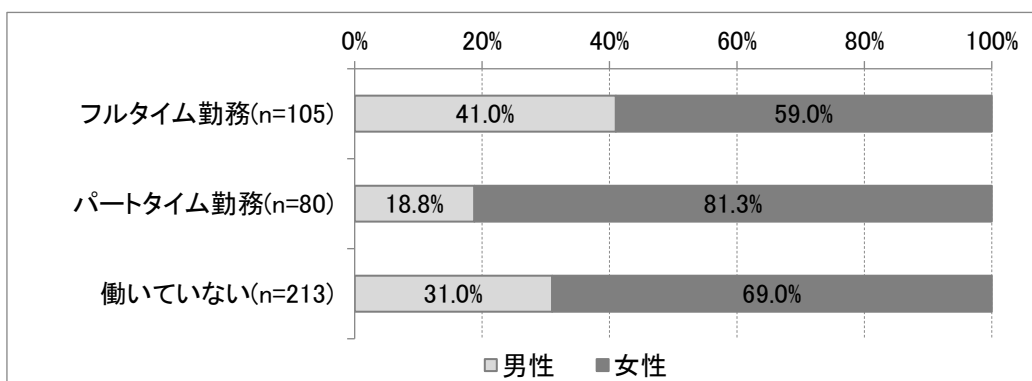
【図表 351】 就労状況別・主な介護者の年齢



【就労状況別・主な介護者の性別】

介護者の性別を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「女性」が59.0%ともっとも割合が高く、次いで「男性」が41.0%となっている。「パートタイム勤務」では「女性」が81.3%ともっとも割合が高く、次いで「男性」が18.8%となっている。「働いていない」では「女性」が69.0%ともっとも割合が高く、次いで「男性」が31.0%となっている。

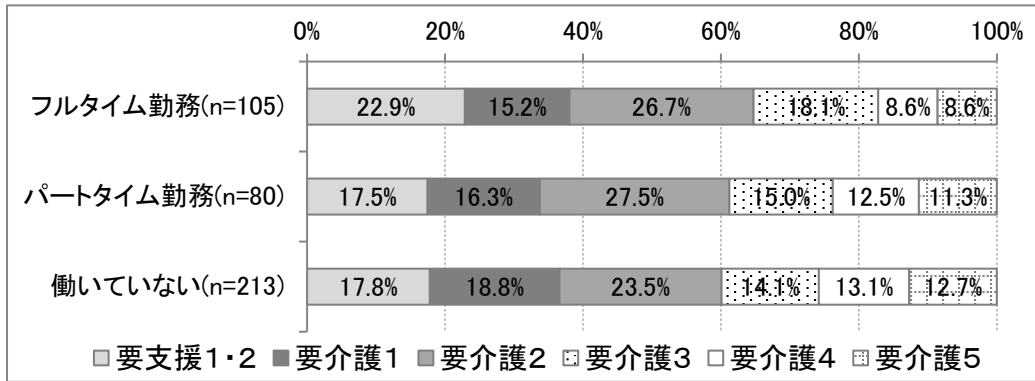
【図表 352】 就労状況別・主な介護者の性別



【就労状況別・要介護度】

二次判定結果を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「要介護2」が26.7%と最も割合が高く、次いで「要支援1・2」が22.9%、「要介護3」が18.1%となっている。「パートタイム勤務」では「要介護2」が27.5%と最も割合が高く、次いで「要支援1・2」が17.5%、「要介護1」が16.3%となっている。「働いていない」では「要介護2」が23.5%と最も割合が高く、次いで「要介護1」が18.8%、「要支援1・2」が17.8%となっている。

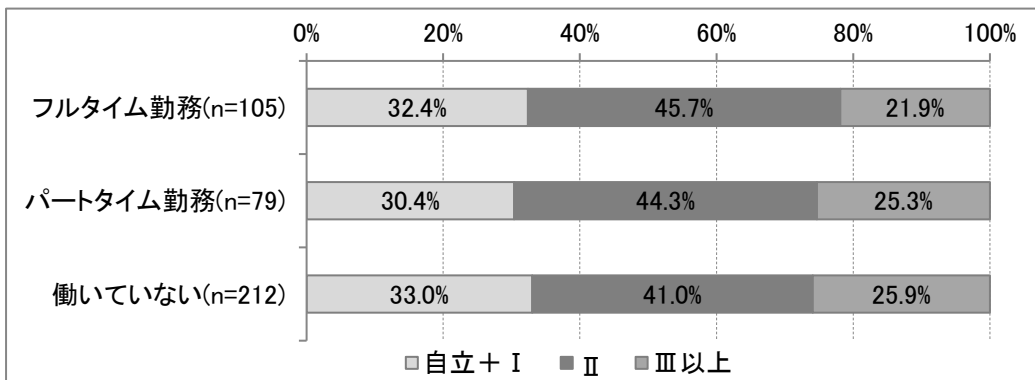
【図表 353】 就労状況別・要介護度



【就労状況別・認知症自立度】

認知症高齢者自立度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「Ⅱ」が45.7%と最も割合が高く、次いで「自立+Ⅰ」が32.4%、「Ⅲ以上」が21.9%となっている。「パートタイム勤務」では「Ⅱ」が44.3%と最も割合が高く、次いで「自立+Ⅰ」が30.4%、「Ⅲ以上」が25.3%となっている。「働いていない」では「Ⅱ」が41.0%と最も割合が高く、次いで「自立+Ⅰ」が33.0%、「Ⅲ以上」が25.9%となっている。

【図表 354】 就労状況別・認知症自立度

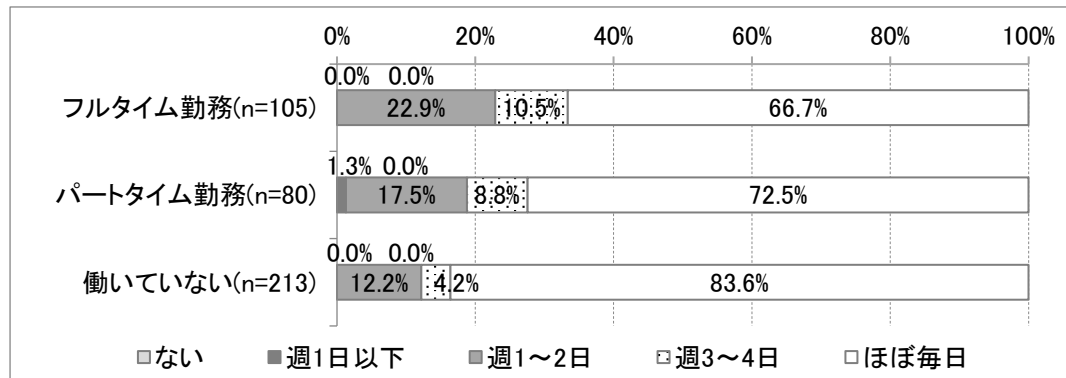


(2) 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

【就労状況別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が66.7%と最も割合が高く、次いで「週1~2日」が22.9%、「週3~4日」が10.5%となっている。「パートタイム勤務」では「ほぼ毎日」が72.5%と最も割合が高く、次いで「週1~2日」が17.5%、「週3~4日」が8.8%となっている。「働いていない」では「ほぼ毎日」が83.6%と最も割合が高く、次いで「週1~2日」が12.2%、「週3~4日」が4.2%となっている。

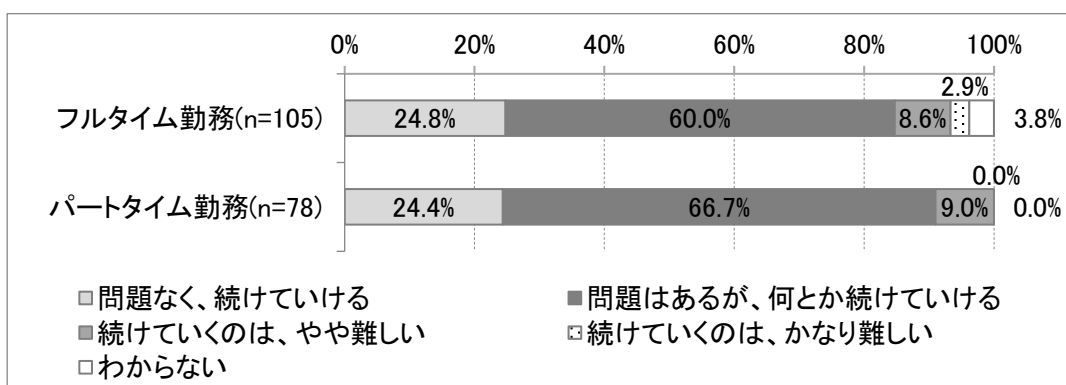
【図表 355】 就労状況別・家族等による介護の頻度



【就労状況別・就労継続見込み】

介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が60.0%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が24.8%、「続けていくのは、やや難しい」が8.6%となっている。「パートタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が66.7%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が24.4%、「続けていくのは、やや難しい」が9.0%となっている。

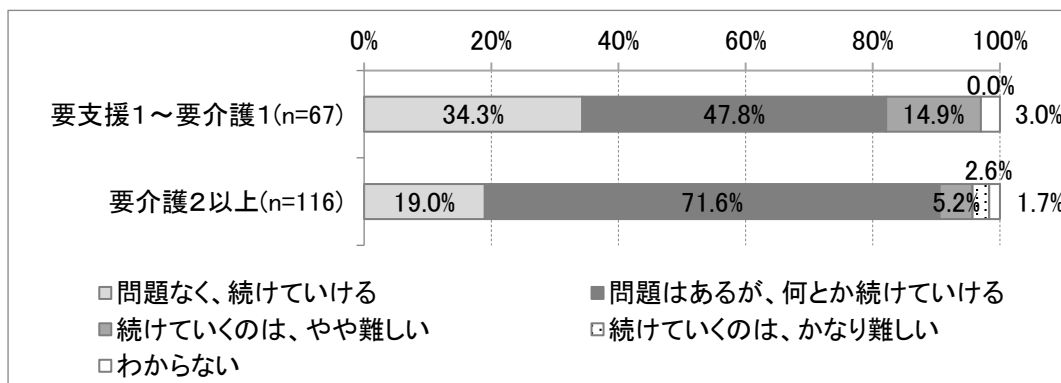
【図表 356】 就労状況別・就労継続見込み



【要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を二次判定結果別にみると、「要支援1～要介護1」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 47.8%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 34.3%、「続けていくのは、やや難しい」が 14.9%となっている。「要介護2以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 71.6%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 19.0%、「続けていくのは、やや難しい」が 5.2%となっている。

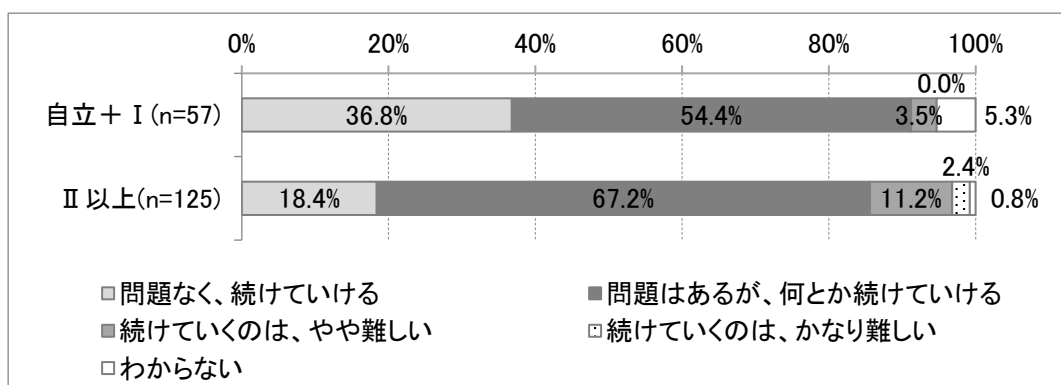
【図表 357】 要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



【認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+I」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 54.4%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 36.8%、「わからない」が 5.3%となっている。「II以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 67.2%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 18.4%、「続けていくのは、やや難しい」が 11.2%となっている。

【図表 358】 認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

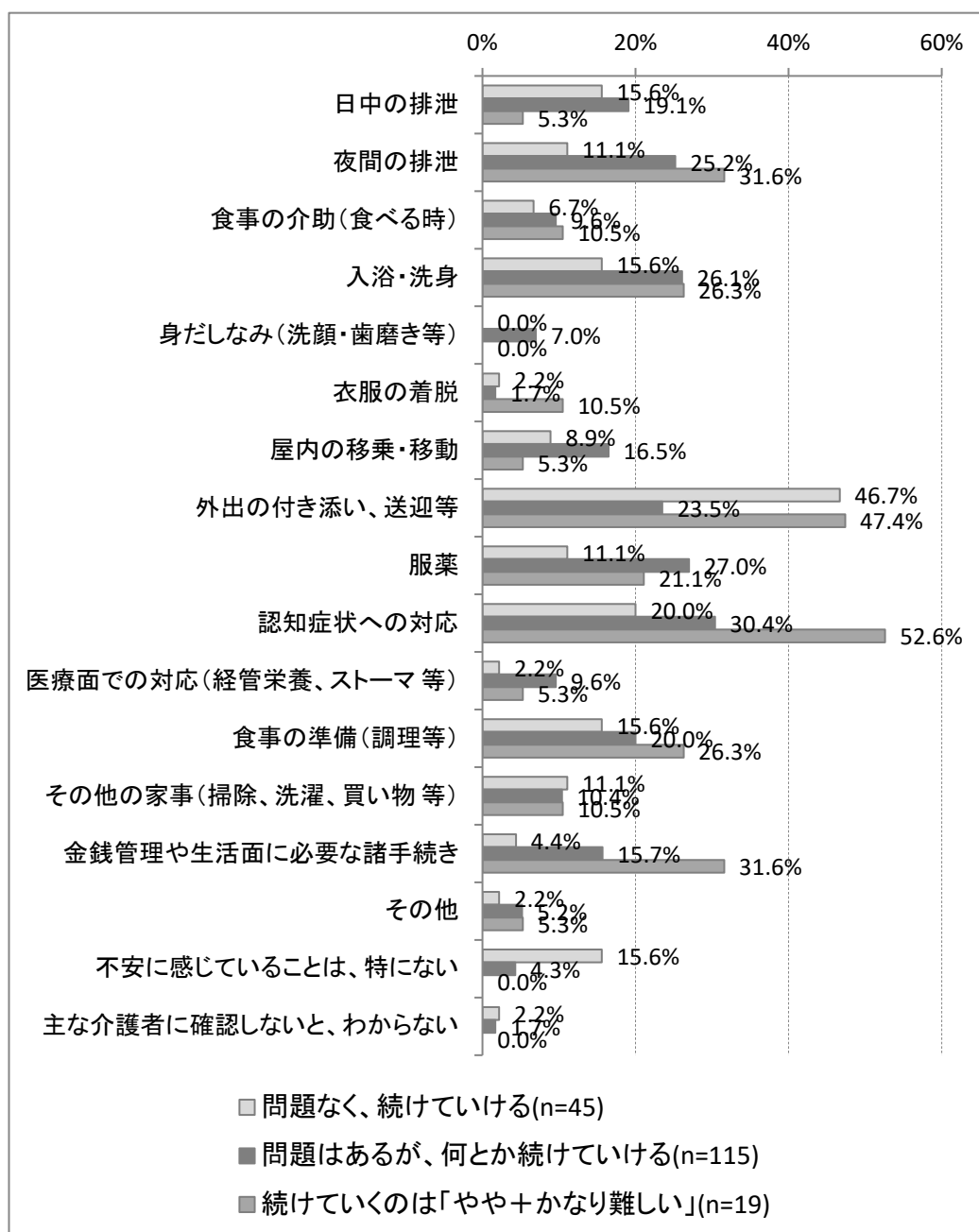


(3) 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

【就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）】

介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「外出の付き添い、送迎等」が46.7%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が20.0%、「日中の排泄」、「入浴・洗身」、「食事の準備（調理等）」、「不安に感じていることは、特にない」が15.6%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「認知症状への対応」が30.4%と最も割合が高く、次いで「服薬」が27.0%、「入浴・洗身」が26.1%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「認知症状への対応」が52.6%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が47.4%、「夜間の排泄」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が31.6%となっている。

【図表 359】 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

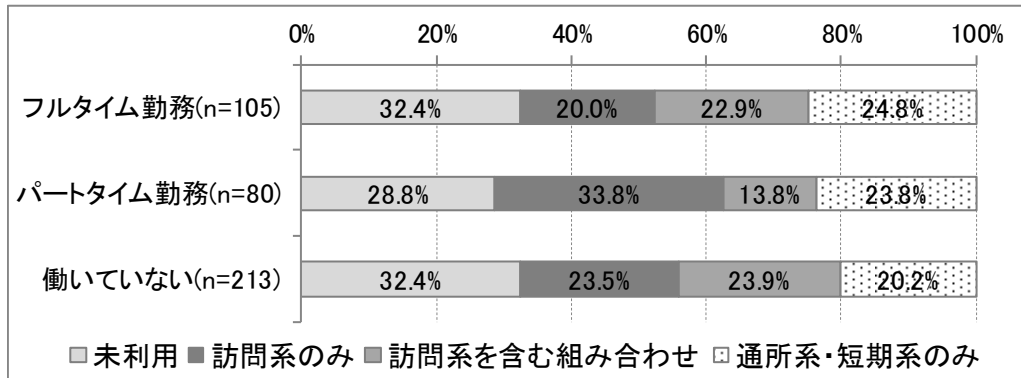


(4)「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

【就労状況別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「未利用」が32.4%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が24.8%、「訪問系を含む組み合わせ」が22.9%、「訪問系のみ」が20.0%となっている。「パートタイム勤務」では「訪問系のみ」が33.8%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が28.8%、「通所系・短期系のみ」が23.8%となっている。「働いていない」では「未利用」が32.4%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が23.9%、「訪問系のみ」が23.5%となっている。

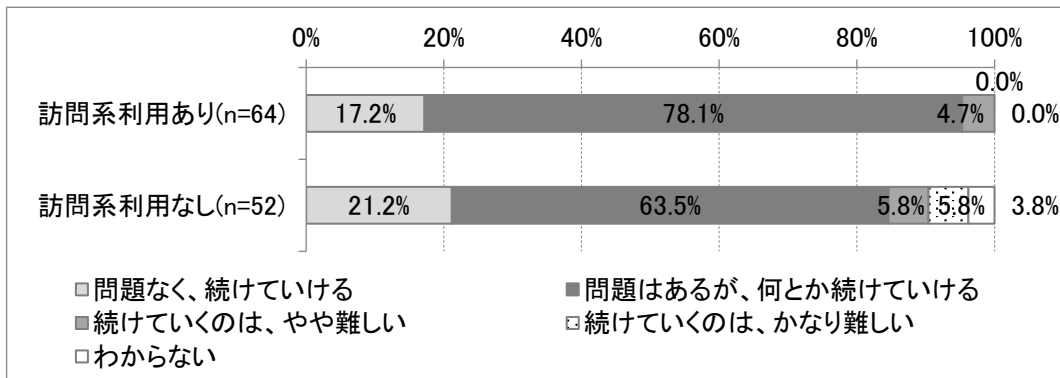
【図表 360】 就労状況別・サービス利用の組み合わせ



【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が78.1%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が17.2%、「続けていくのは、やや難しい」が4.7%となっている。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が63.5%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が21.2%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」が5.8%となっている。

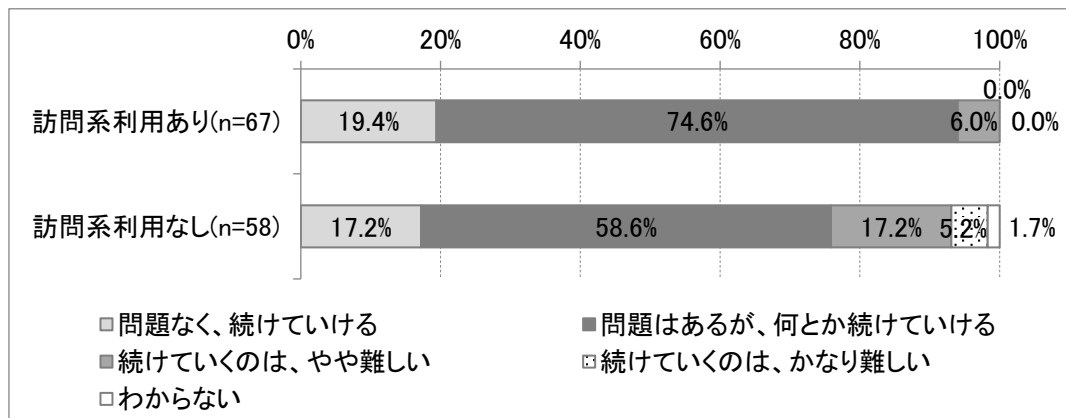
【図表 361】 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）



【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が74.6%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が19.4%、「続けていくのは、やや難しい」が6.0%となっている。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が58.6%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」、「続けていくのは、やや難しい」が17.2%、「続けていくのは、かなり難しい」が5.2%となっている。

【図表 362】 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

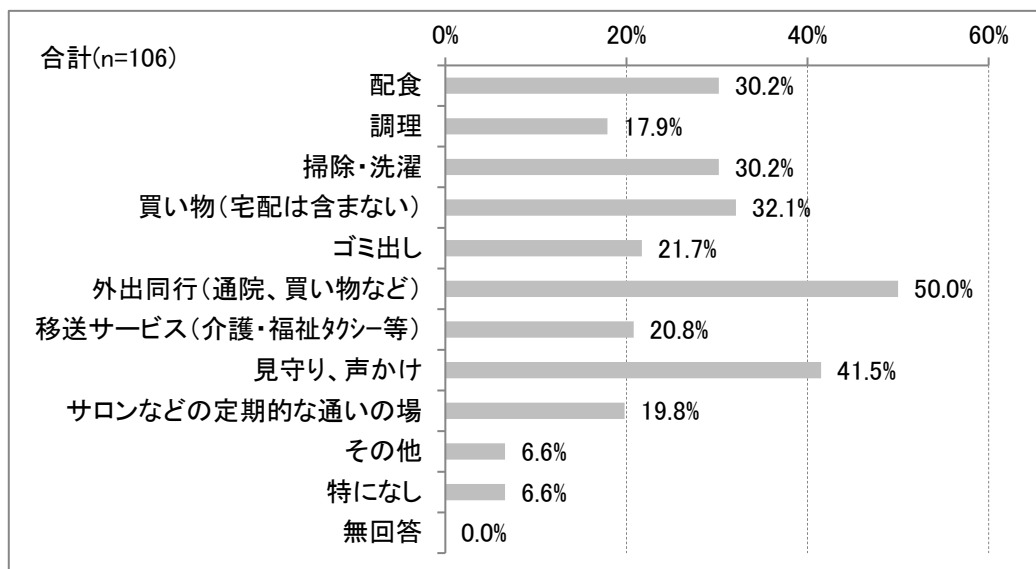


(5) 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況

【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）】

「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く50.0%となっている。次いで、「見守り、声かけ（41.5%）」、「買い物（宅配は含まない）（32.1%）」となっている。

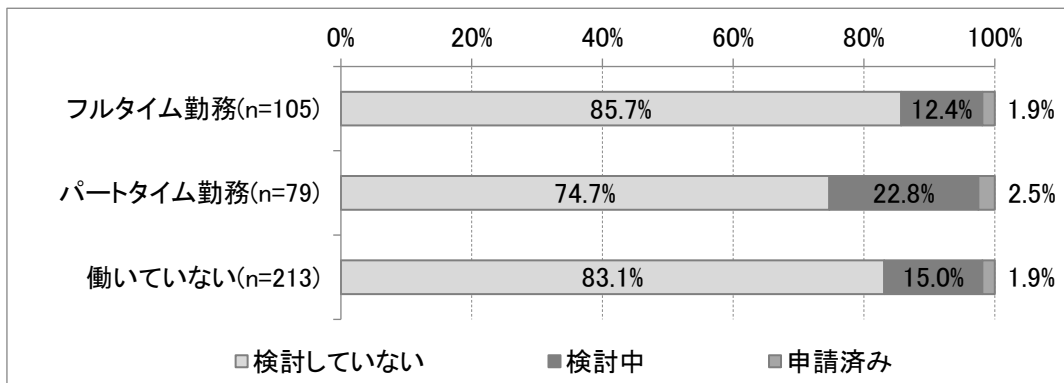
【図表 363】 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）



【就労状況別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「検討していない」が85.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が12.4%、「申請済み」が1.9%となっている。「パートタイム勤務」では「検討していない」が74.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が22.8%、「申請済み」が2.5%となっている。「働いていない」では「検討していない」が83.1%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が15.0%、「申請済み」が1.9%となっている。

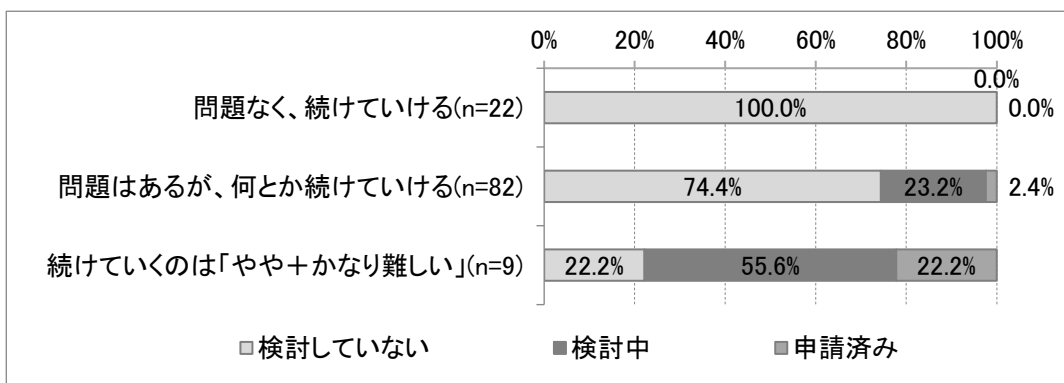
【図表 364】 就労状況別・施設等検討の状況



【就労継続見込み別・施設等検討の状況（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）】

施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「検討していない」が100.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が0.0%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「検討していない」が74.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が23.2%、「申請済み」が2.4%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「検討中」が55.6%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」、「申請済み」が22.2%となっている。

【図表 365】 就労継続見込み別・施設等検討の状況（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）

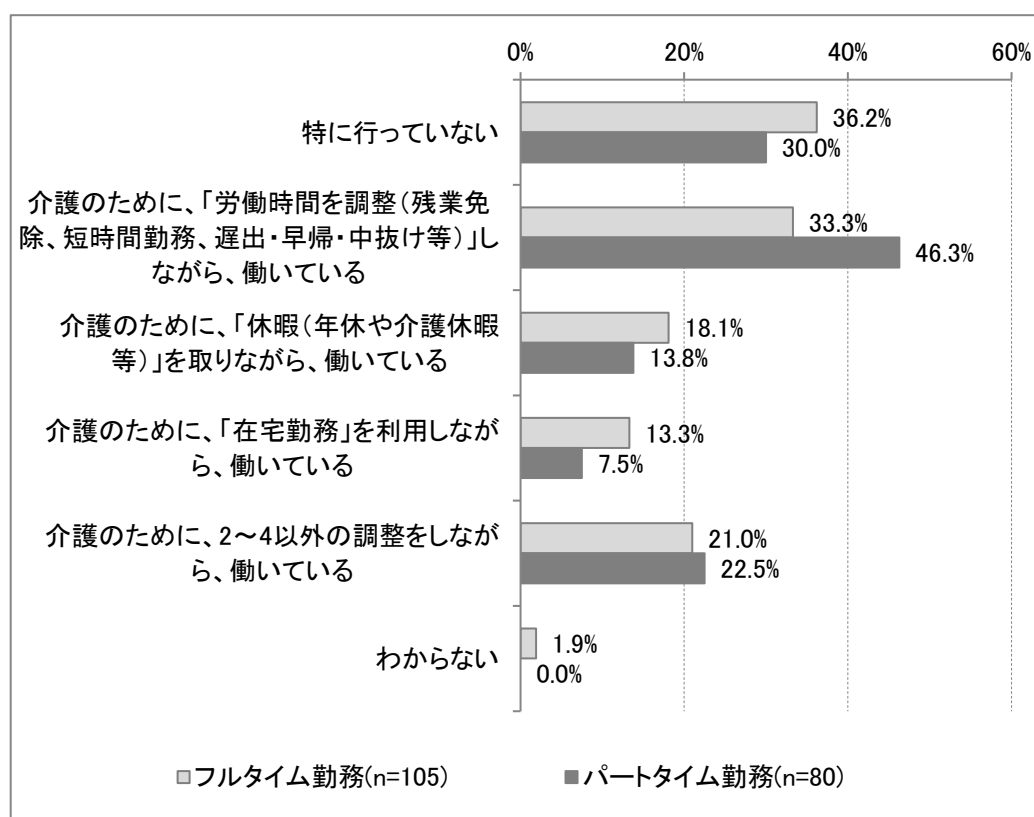


(6) 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

【就労状況別・介護のための働き方の調整】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」が36.2%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が33.3%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が21.0%となっている。「パートタイム勤務」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が46.3%と最も割合が高く、次いで「特に行っていない」が30.0%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が22.5%となっている。

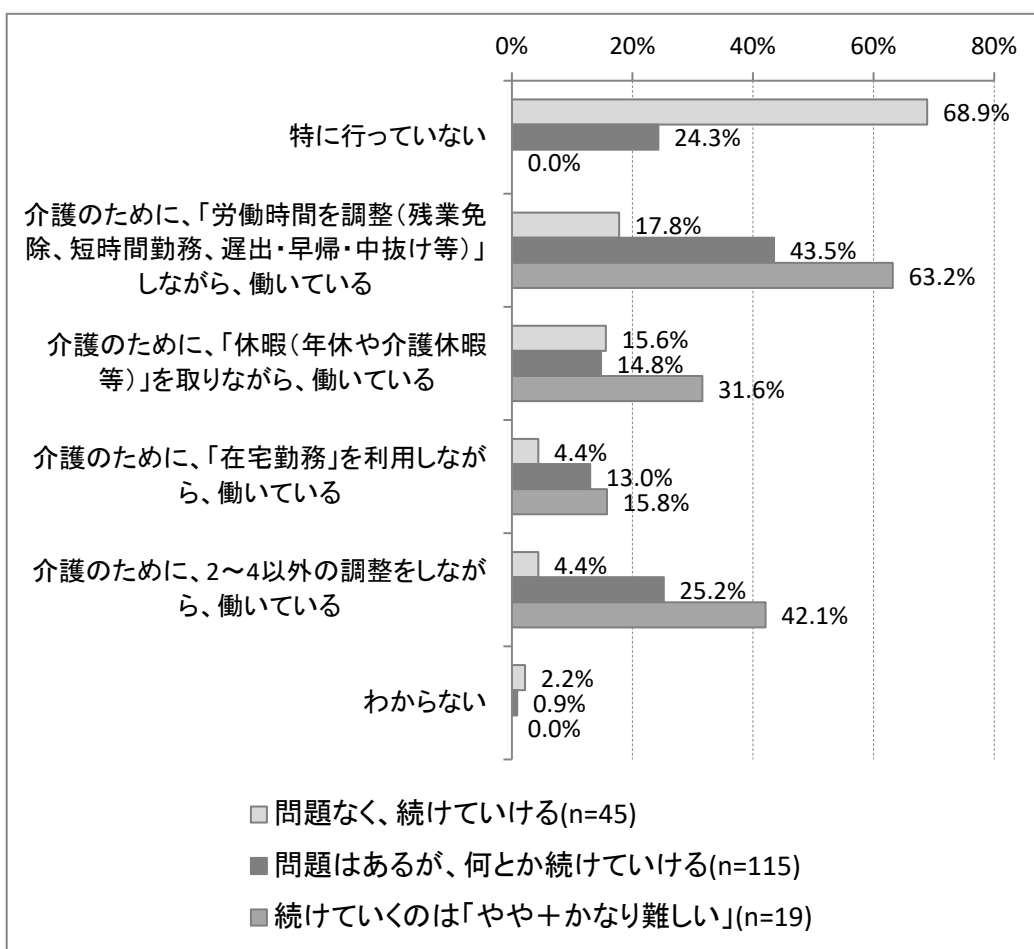
【図表 366】 就労状況別・介護のための働き方の調整



【就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務+パートタイム勤務）】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特に行っていない」が 68.9%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 17.8%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 15.6%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 43.5%と最も割合が高く、次いで「介護のために、2~4 以外の調整をしながら、働いている」が 25.2%、「特に行っていない」が 24.3%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 63.2%と最も割合が高く、次いで「介護のために、2~4 以外の調整をしながら、働いている」が 42.1%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 31.6%となっている。

【図表 367】 就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



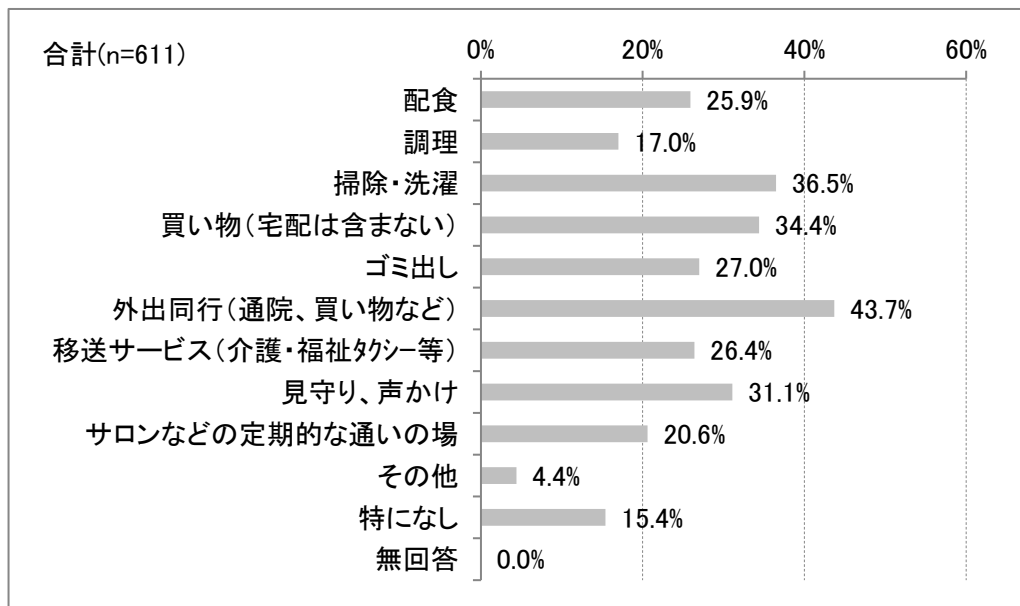
保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

(1) 基礎集計

【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く 43.7%となっている。次いで、「掃除・洗濯（36.5%）」、「買い物（宅配は含まない）（34.4%）」となっている。

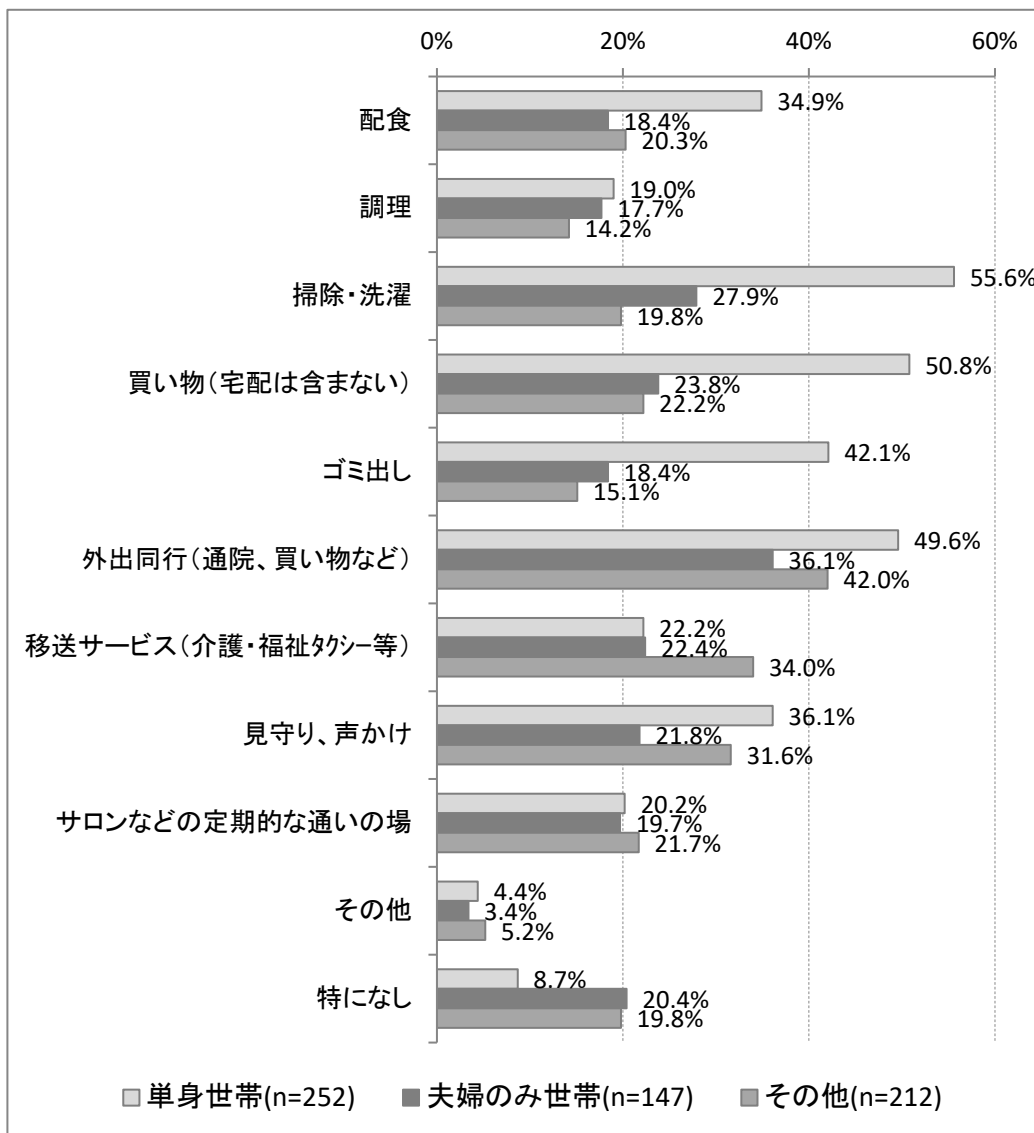
【図表 368】在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(2) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス
 【世帯類型別・在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「掃除・洗濯」が55.6%ともっとも割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が50.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が49.6%となっている。「夫婦のみ世帯」では「外出同行（通院、買い物など）」が36.1%ともっとも割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が27.9%、「買い物（宅配は含まない）」が23.8%となっている。「その他」では「外出同行（通院、買い物など）」が42.0%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.0%、「見守り、声かけ」が31.6%となっている。

【図表 369】 世帯類型別・在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス

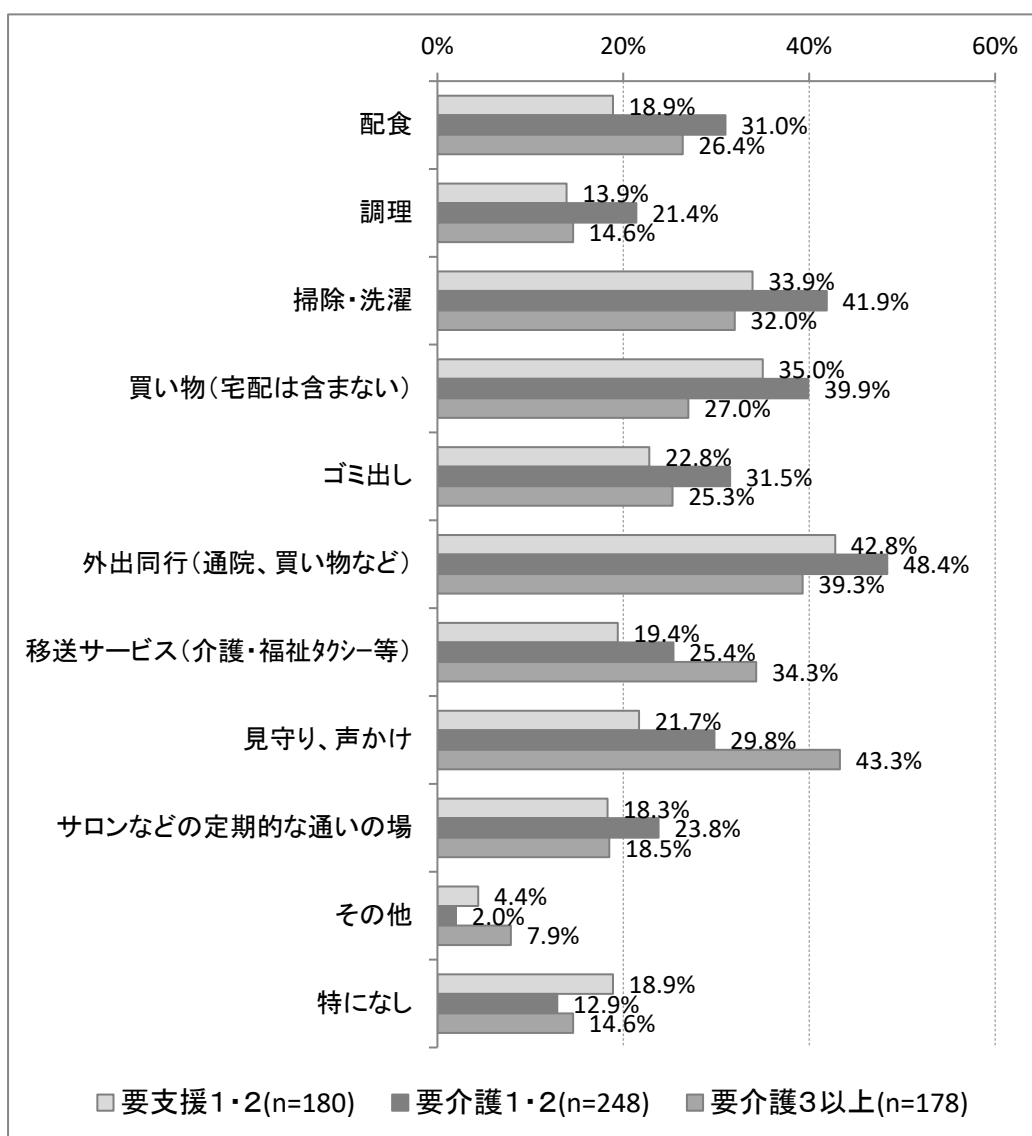


(3) 「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」

【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が42.8%と最も割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が35.0%、「掃除・洗濯」が33.9%となっている。「要介護1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が48.4%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が41.9%、「買い物（宅配は含まない）」が39.9%となっている。「要介護3以上」では「見守り、声かけ」が43.3%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が39.3%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.3%となっている。

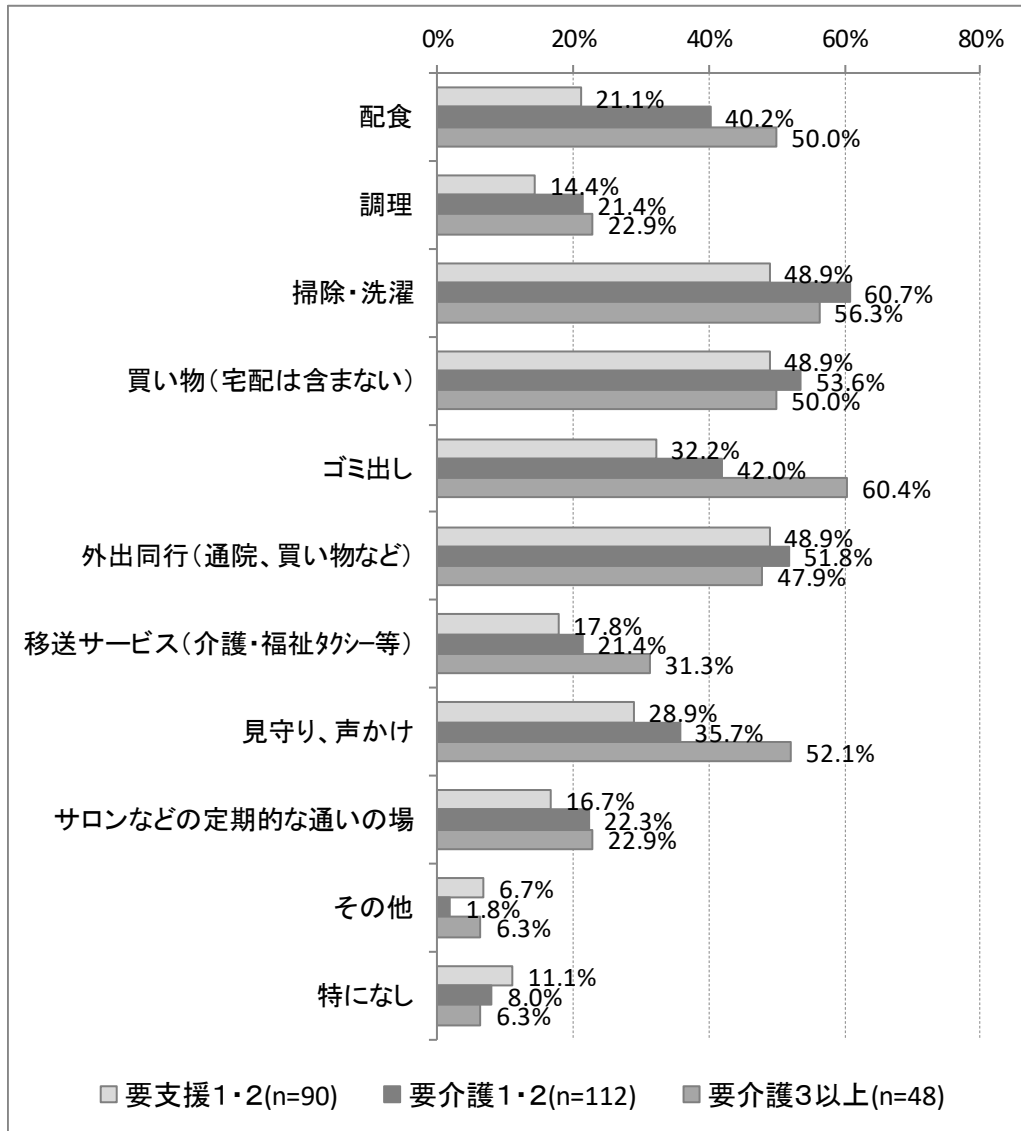
【図表 370】 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」、「外出同行（通院、買い物など）」が48.9%ともっとも割合が高く、次いで「ゴミ出し」が32.2%、「見守り、声かけ」が28.9%となっている。「要介護1・2」では「掃除・洗濯」が60.7%ともっとも割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が53.6%、「外出同行（通院、買い物など）」が51.8%となっている。「要介護3以上」では「ゴミ出し」が60.4%ともっとも割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が56.3%、「見守り、声かけ」が52.1%となっている。

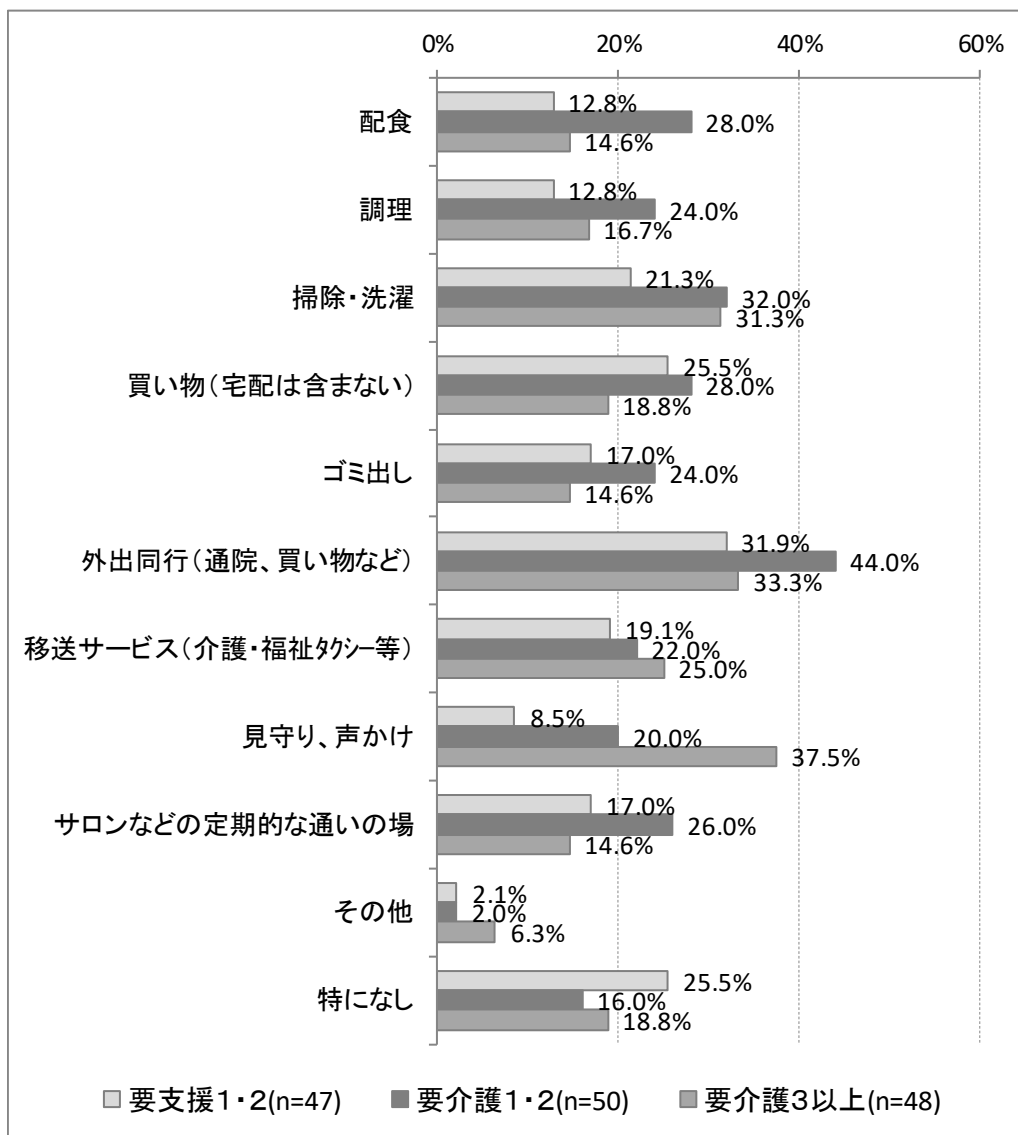
【図表 371】 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が31.9%ともっとも割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」、「特になし」が25.5%、「掃除・洗濯」が21.3%となっている。「要介護1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が44.0%ともっとも割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が32.0%、「配食」、「買い物（宅配は含まない）」が28.0%となっている。「要介護3以上」では「見守り、声かけ」が37.5%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が33.3%、「掃除・洗濯」が31.3%となっている。

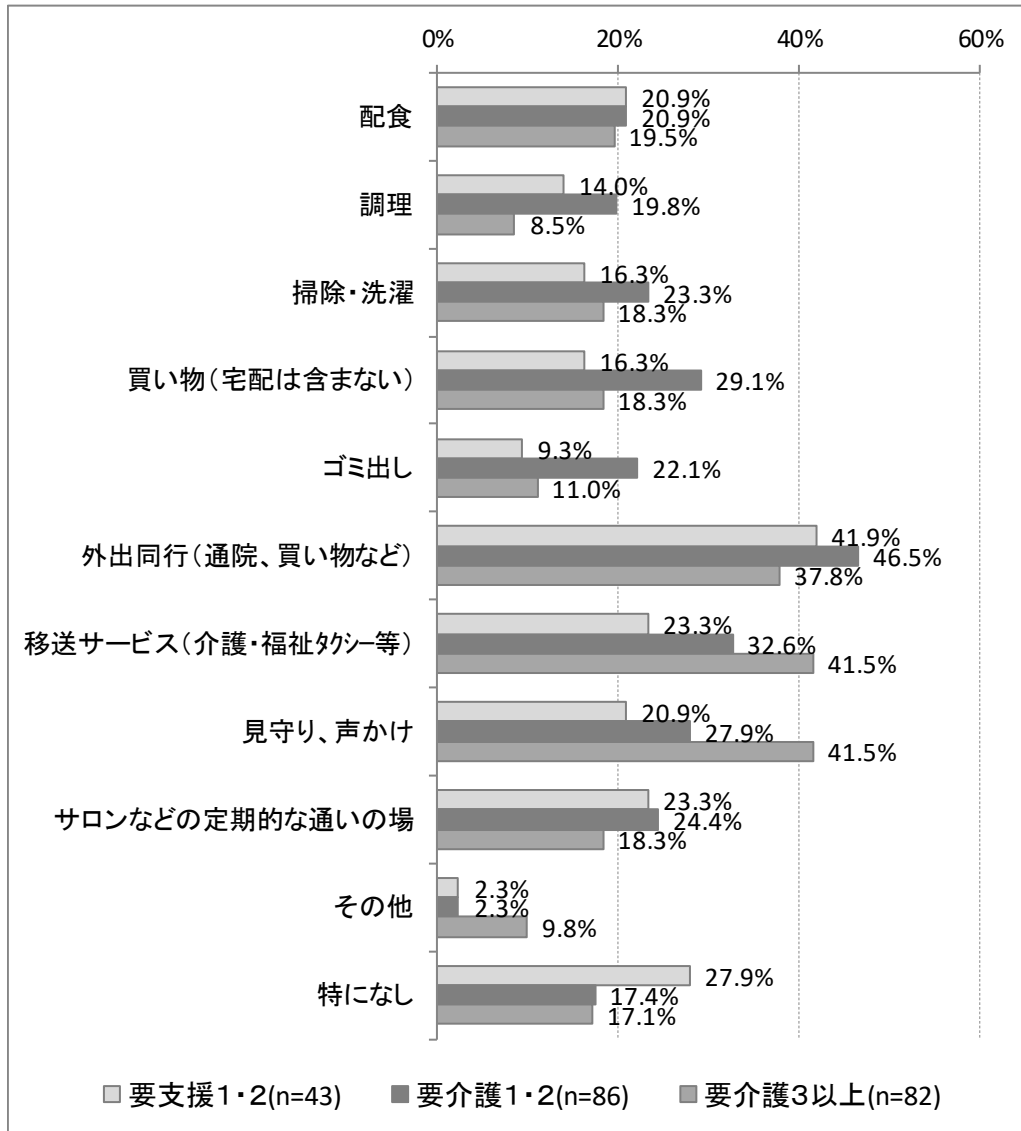
【図表 372】 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が 41.9%と最も割合が高く、次いで「特になし」が 27.9%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「サロンなどの定期的な通いの場」が 23.3%となっている。「要介護1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が 46.5%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 32.6%、「買い物（宅配は含まない）」が 29.1%となっている。「要介護3以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」が 41.5%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 37.8%、「配食」が 19.5%となっている。

【図表 373】 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）



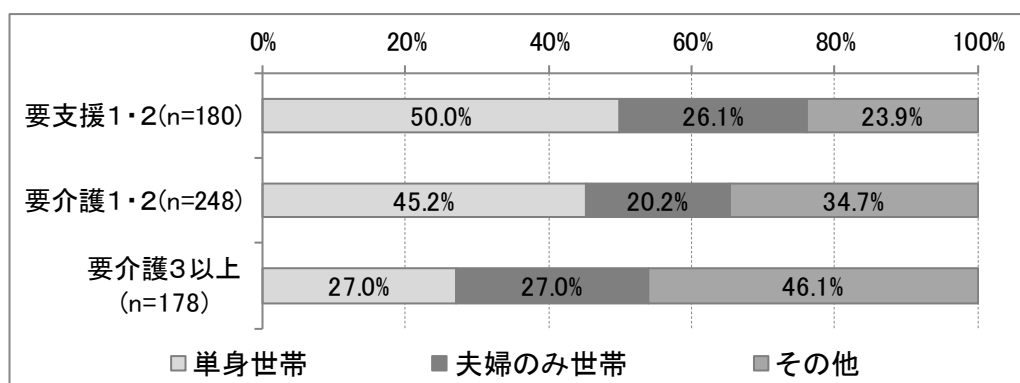
将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

(1) 基礎集計

【要介護度別・世帯類型】

世帯類型を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「単身世帯」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が26.1%、「その他」が23.9%となっている。「要介護1・2」では「単身世帯」が45.2%ともっとも割合が高く、次いで「その他」が34.7%、「夫婦のみ世帯」が20.2%となっている。「要介護3以上」では「その他」が46.1%ともっとも割合が高く、次いで「単身世帯」、「夫婦のみ世帯」が27.0%となっている。

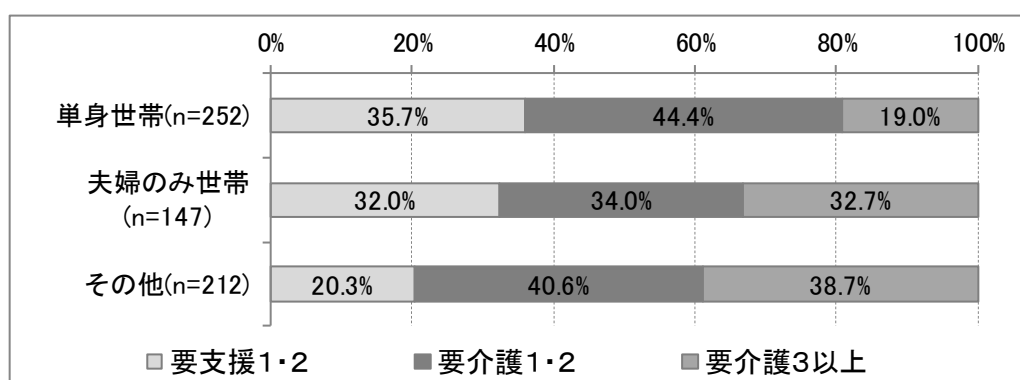
【図表 374】 要介護度別・世帯類型



【世帯類型別・要介護度】

二次判定結果を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「要介護1・2」が44.4%ともっとも割合が高く、次いで「要支援1・2」が35.7%、「要介護3以上」が19.0%となっている。「夫婦のみ世帯」では「要介護1・2」が34.0%ともっとも割合が高く、次いで「要介護3以上」が32.7%、「要支援1・2」が32.0%となっている。「その他」では「要介護1・2」が40.6%ともっとも割合が高く、次いで「要介護3以上」が38.7%、「要支援1・2」が20.3%となっている。

【図表 375】 世帯類型別・要介護度

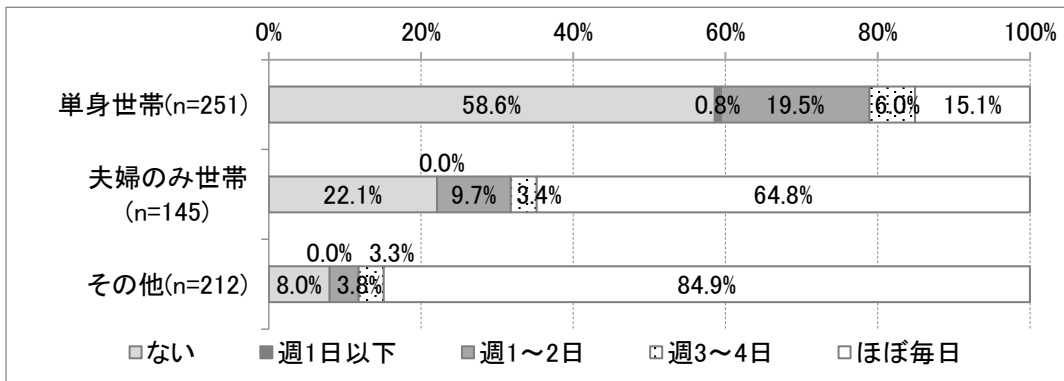


(2) 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

【世帯類型別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「ない」が 58.6%と最も割合が高く、次いで「週1~2日」が19.5%、「ほぼ毎日」が15.1%となっている。「夫婦のみ世帯」では「ほぼ毎日」が64.8%と最も割合が高く、次いで「ない」が22.1%、「週1~2日」が9.7%となっている。「その他」では「ほぼ毎日」が84.9%と最も割合が高く、次いで「ない」が8.0%、「週1~2日」が3.8%となっている。

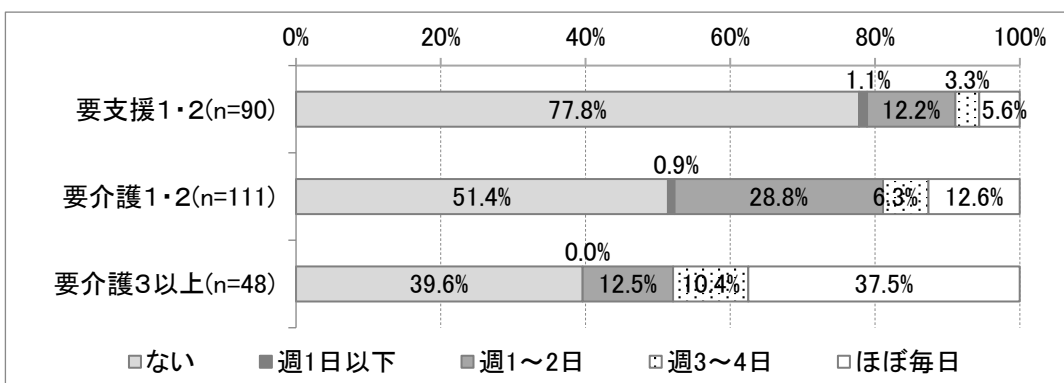
【図表 376】世帯類型別・家族等による介護の頻度



【要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ない」が77.8%と最も割合が高く、次いで「週1~2日」が12.2%、「ほぼ毎日」が5.6%となっている。「要介護1・2」では「ない」が51.4%と最も割合が高く、次いで「週1~2日」が28.8%、「ほぼ毎日」が12.6%となっている。「要介護3以上」では「ない」が39.6%と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が37.5%、「週1~2日」が12.5%となっている。

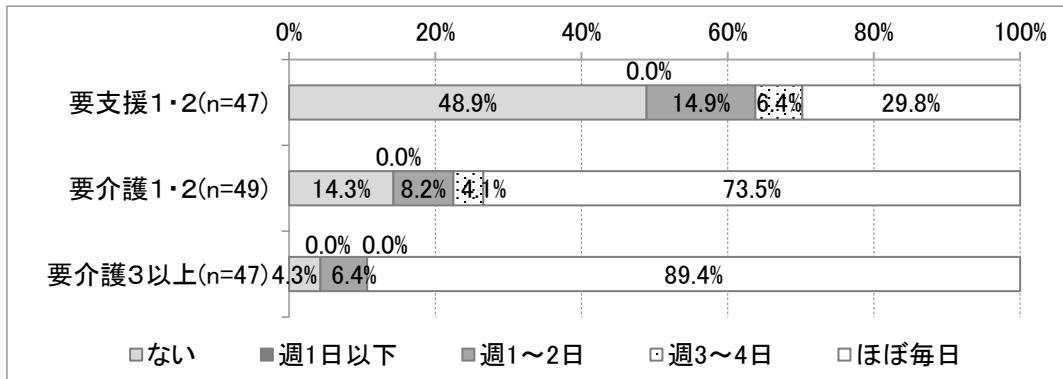
【図表 377】要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）



【要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ない」が48.9%ともっとも割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が29.8%、「週1～2日」が14.9%となっている。「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が73.5%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が14.3%、「週1～2日」が8.2%となっている。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が89.4%ともっとも割合が高く、次いで「週1～2日」が6.4%、「ない」が4.3%となっている。

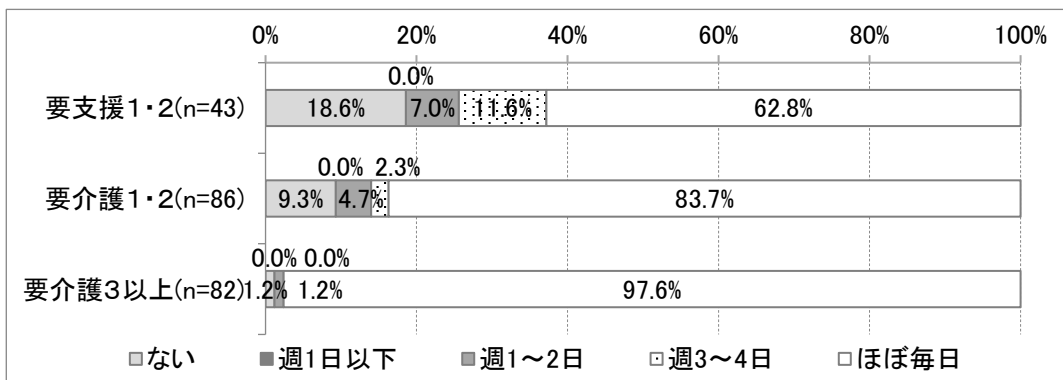
【図表 378】 要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ほぼ毎日」が62.8%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が18.6%、「週3～4日」が11.6%となっている。「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が83.7%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が9.3%、「週1～2日」が4.7%となっている。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が97.6%ともっとも割合が高く、次いで「ない」、「週1～2日」が1.2%、「週1日以下」、「週3～4日」が0.0%となっている。

【図表 379】 要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）

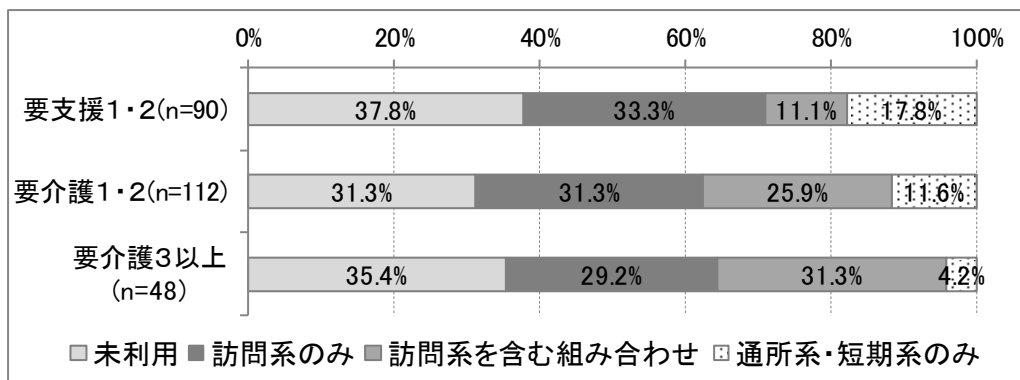


(3) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が37.8%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が33.3%、「通所系・短期系のみ」が17.8%となっている。「要介護1・2」では「未利用」、「訪問系のみ」が31.3%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が25.9%、「通所系・短期系のみ」が11.6%となっている。「要介護3以上」では「未利用」が35.4%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が31.3%、「訪問系のみ」が29.2%となっている。

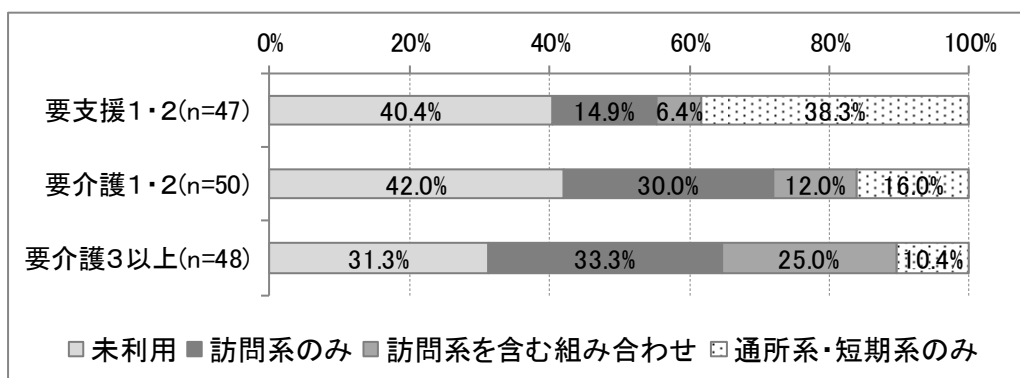
【図表 380】 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が40.4%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が38.3%、「訪問系のみ」が14.9%となっている。「要介護1・2」では「未利用」が42.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が30.0%、「通所系・短期系のみ」が16.0%となっている。「要介護3以上」では「訪問系のみ」が33.3%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が31.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が25.0%となっている。

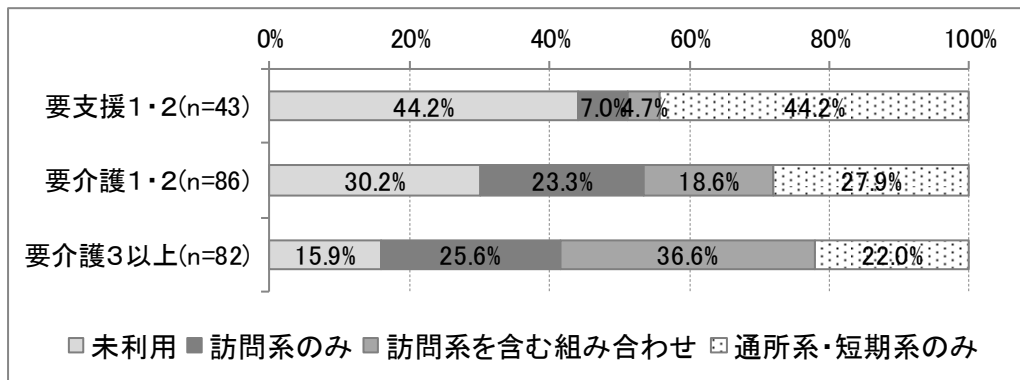
【図表 381】 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」、「通所系・短期系のみ」が44.2%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が7.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が4.7%となっている。「要介護1・2」では「未利用」が30.2%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が27.9%、「訪問系のみ」が23.3%となっている。「要介護3以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が36.6%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が25.6%、「通所系・短期系のみ」が22.0%となっている。

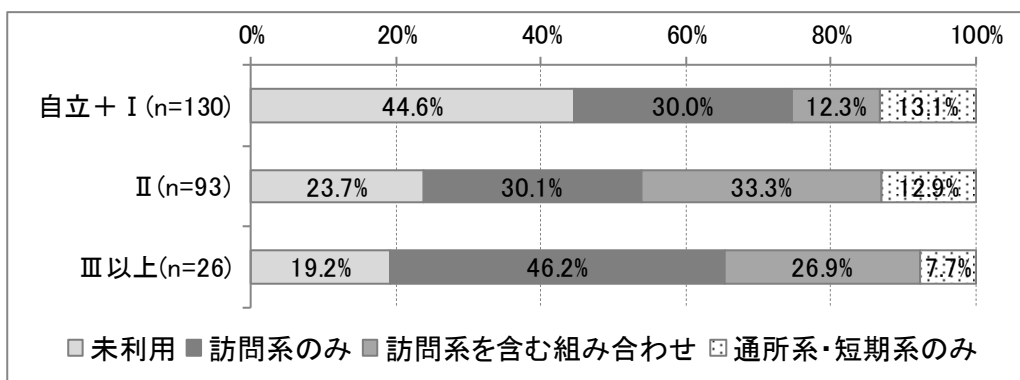
【図表 382】 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「未利用」が44.6%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が30.0%、「通所系・短期系のみ」が13.1%となっている。「Ⅱ」では「訪問系を含む組み合わせ」が33.3%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が30.1%、「未利用」が23.7%となっている。「Ⅲ以上」では「訪問系のみ」が46.2%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が26.9%、「未利用」が19.2%となっている。

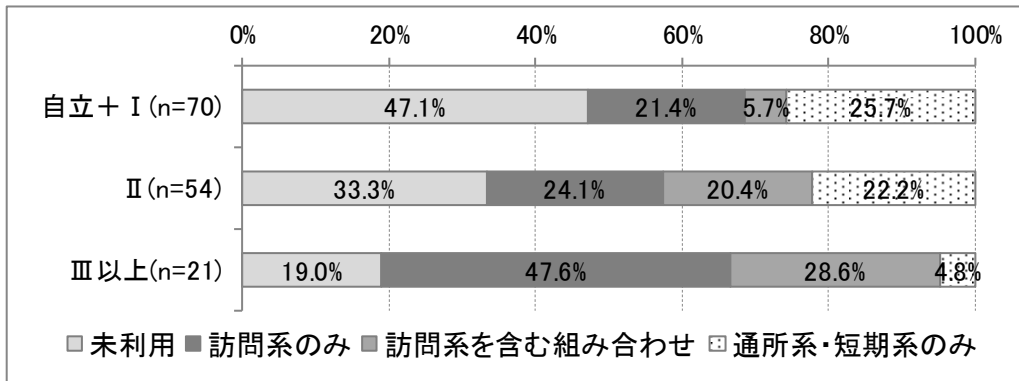
【図表 383】 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「未利用」が47.1%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が25.7%、「訪問系のみ」が21.4%となっている。「Ⅱ」では「未利用」が33.3%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が24.1%、「通所系・短期系のみ」が22.2%となっている。「Ⅲ以上」では「訪問系のみ」が47.6%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が28.6%、「未利用」が19.0%となっている。

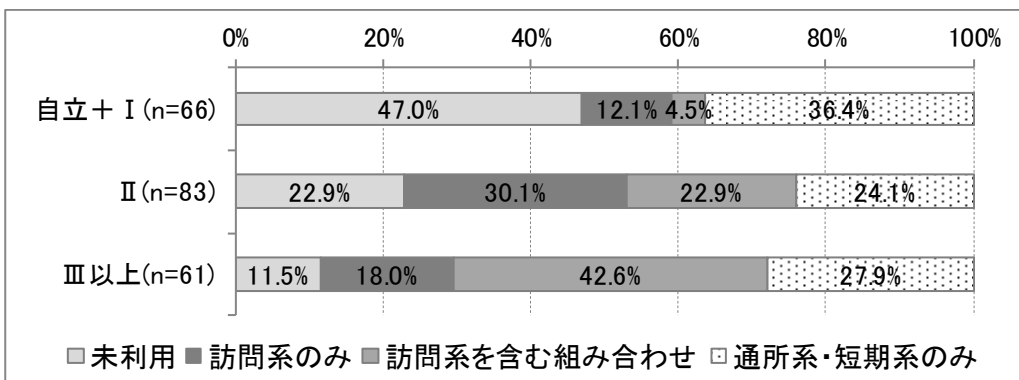
【図表 384】 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「未利用」が47.0%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が36.4%、「訪問系のみ」が12.1%となっている。「Ⅱ」では「訪問系のみ」が30.1%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が24.1%、「未利用」、「訪問系を含む組み合わせ」が22.9%となっている。「Ⅲ以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が42.6%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が27.9%、「訪問系のみ」が18.0%となっている。

【図表 385】 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）

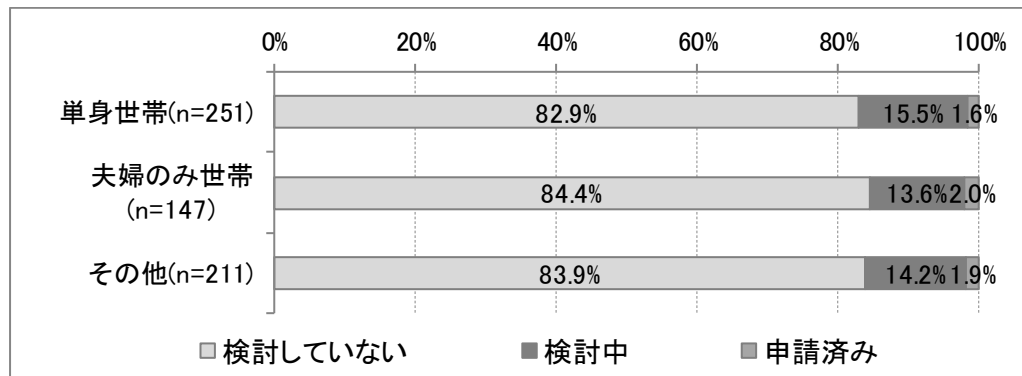


(4) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

【世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が 82.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 15.5%、「申請済み」が 1.6%となっている。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が 84.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 13.6%、「申請済み」が 2.0%となっている。「その他」では「検討していない」が 83.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 14.2%、「申請済み」が 1.9%となっている。

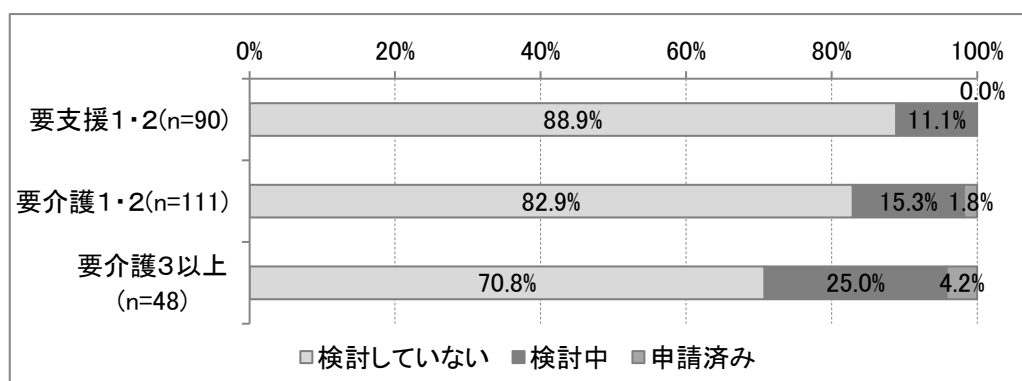
【図表 386】世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）



【要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が 88.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 11.1%、「申請済み」が 0.0%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が 82.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 15.3%、「申請済み」が 1.8%となっている。「要介護3以上」では「検討していない」が 70.8%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 25.0%、「申請済み」が 4.2%となっている。

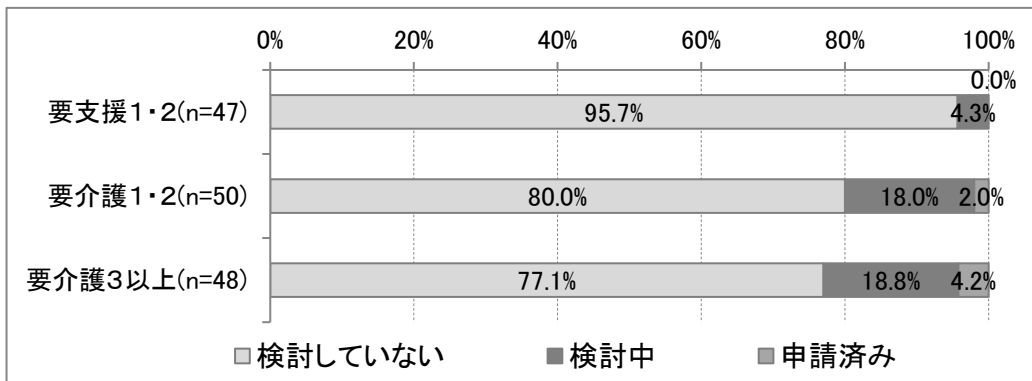
【図表 387】要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）



【要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が95.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が4.3%、「申請済み」が0.0%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が80.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が18.0%、「申請済み」が2.0%となっている。「要介護3以上」では「検討していない」が77.1%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が18.8%、「申請済み」が4.2%となっている。

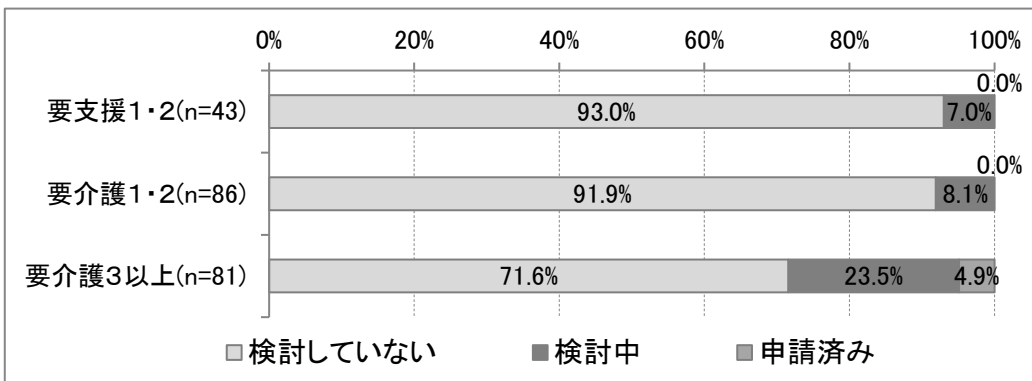
【図表 388】 要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が93.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が7.0%、「申請済み」が0.0%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が91.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が8.1%、「申請済み」が0.0%となっている。「要介護3以上」では「検討していない」が71.6%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が23.5%、「申請済み」が4.9%となっている。

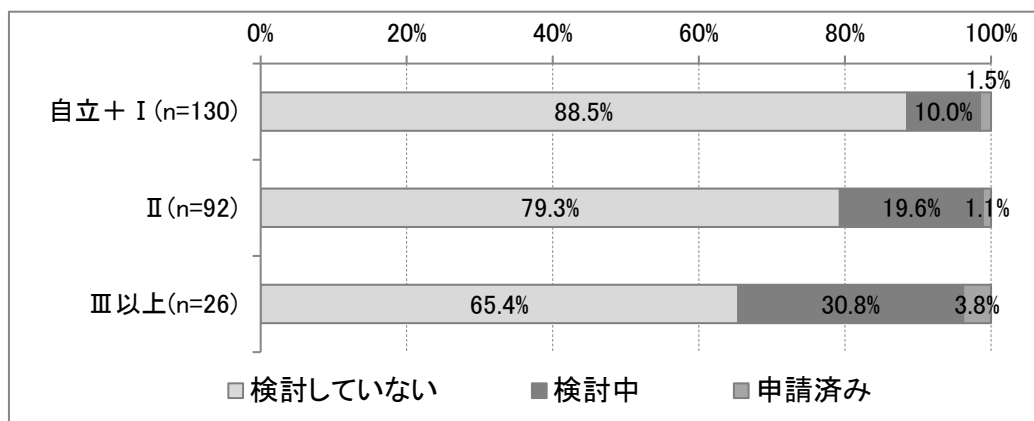
【図表 389】 要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）



【認知症自立度別・施設等検討の状況（単身世帯）】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「検討していない」が88.5%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が10.0%、「申請済み」が1.5%となっている。「Ⅱ」では「検討していない」が79.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が19.6%、「申請済み」が1.1%となっている。「Ⅲ以上」では「検討していない」が65.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が30.8%、「申請済み」が3.8%となっている。

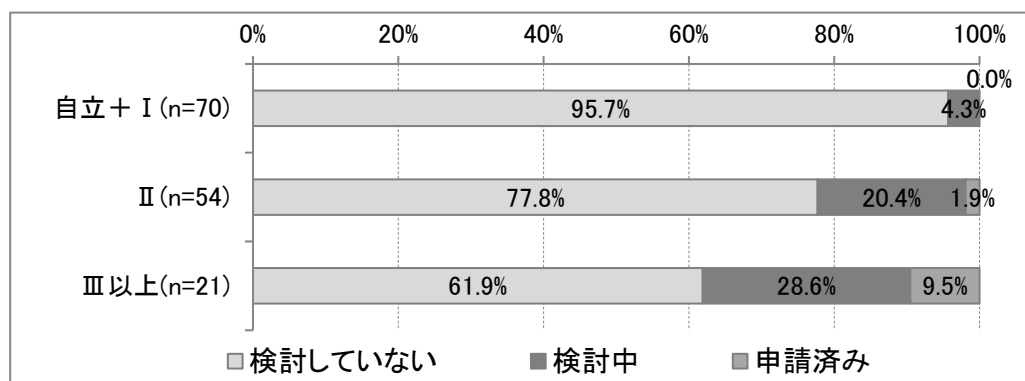
【図表 390】 認知症自立度別・施設等検討の状況（単身世帯）



【認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「検討していない」が95.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が4.3%、「申請済み」が0.0%となっている。「Ⅱ」では「検討していない」が77.8%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が20.4%、「申請済み」が1.9%となっている。「Ⅲ以上」では「検討していない」が61.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が28.6%、「申請済み」が9.5%となっている。

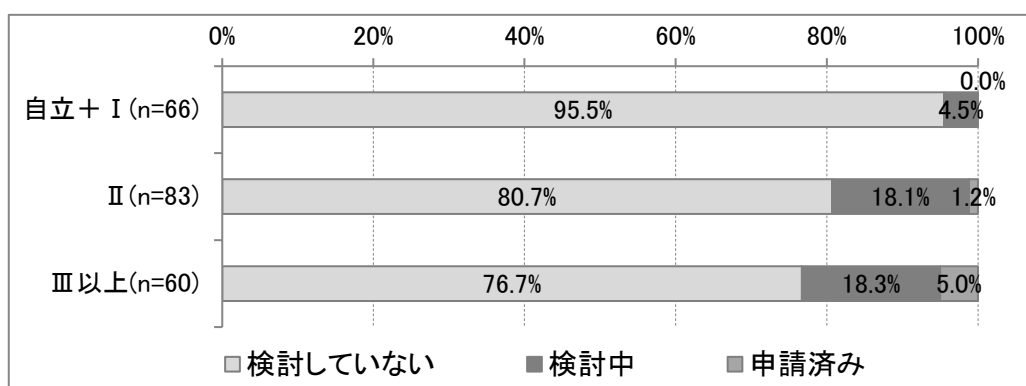
【図表 391】 認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



【認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「検討していない」が95.5%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が4.5%、「申請済み」が0.0%となっている。「Ⅱ」では「検討していない」が80.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が18.1%、「申請済み」が1.2%となっている。「Ⅲ以上」では「検討していない」が76.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が18.3%、「申請済み」が5.0%となっている。

【図表 392】 認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）



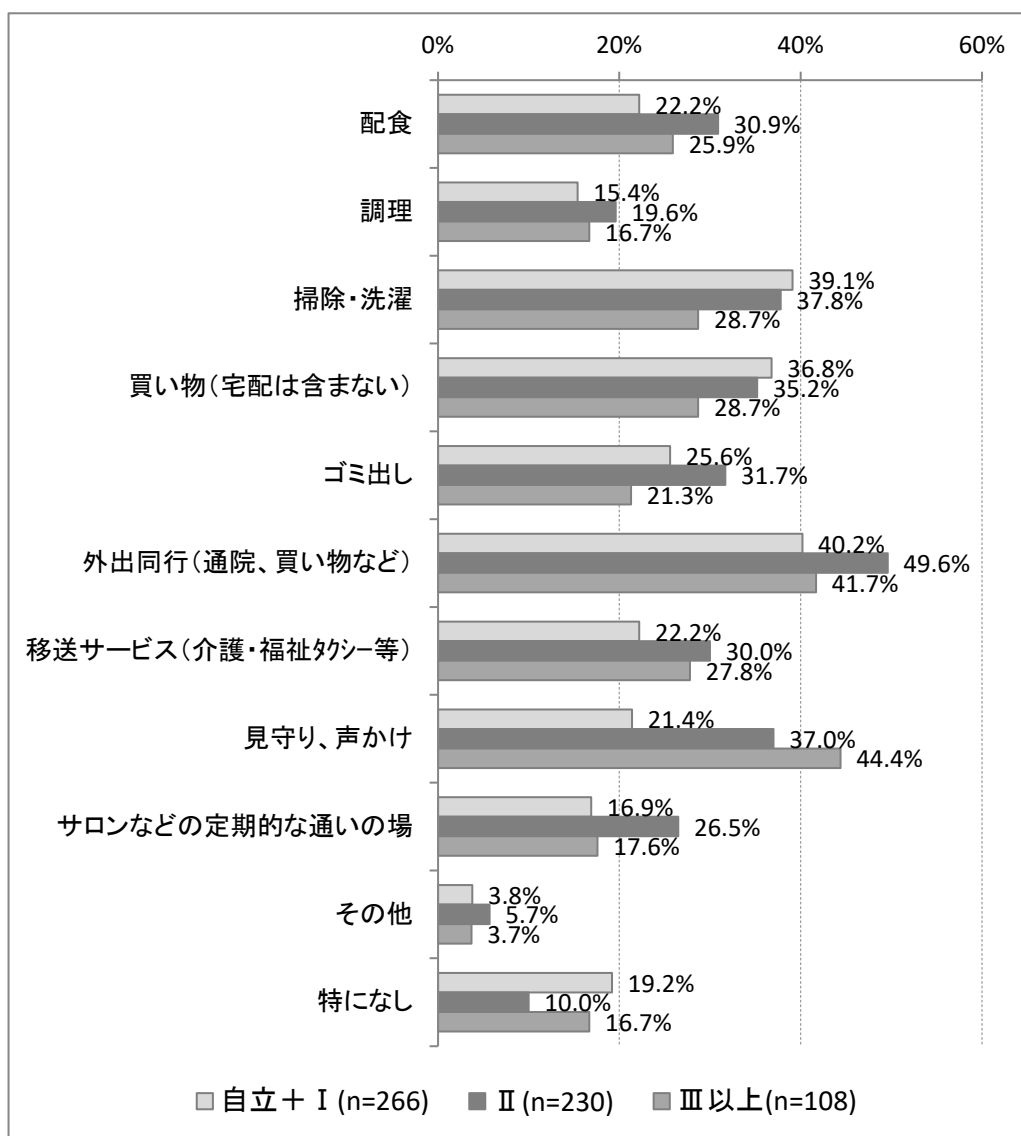
サービス未利用の理由など

(1) 要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

【認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「外出同行（通院、買い物など）」が40.2%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が39.1%、「買い物（宅配は含まない）」が36.8%となっている。「Ⅱ」では「外出同行（通院、買い物など）」が49.6%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が37.8%、「見守り、声かけ」が37.0%となっている。「Ⅲ以上」では「見守り、声かけ」が44.4%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が41.7%、「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」が28.7%となっている。

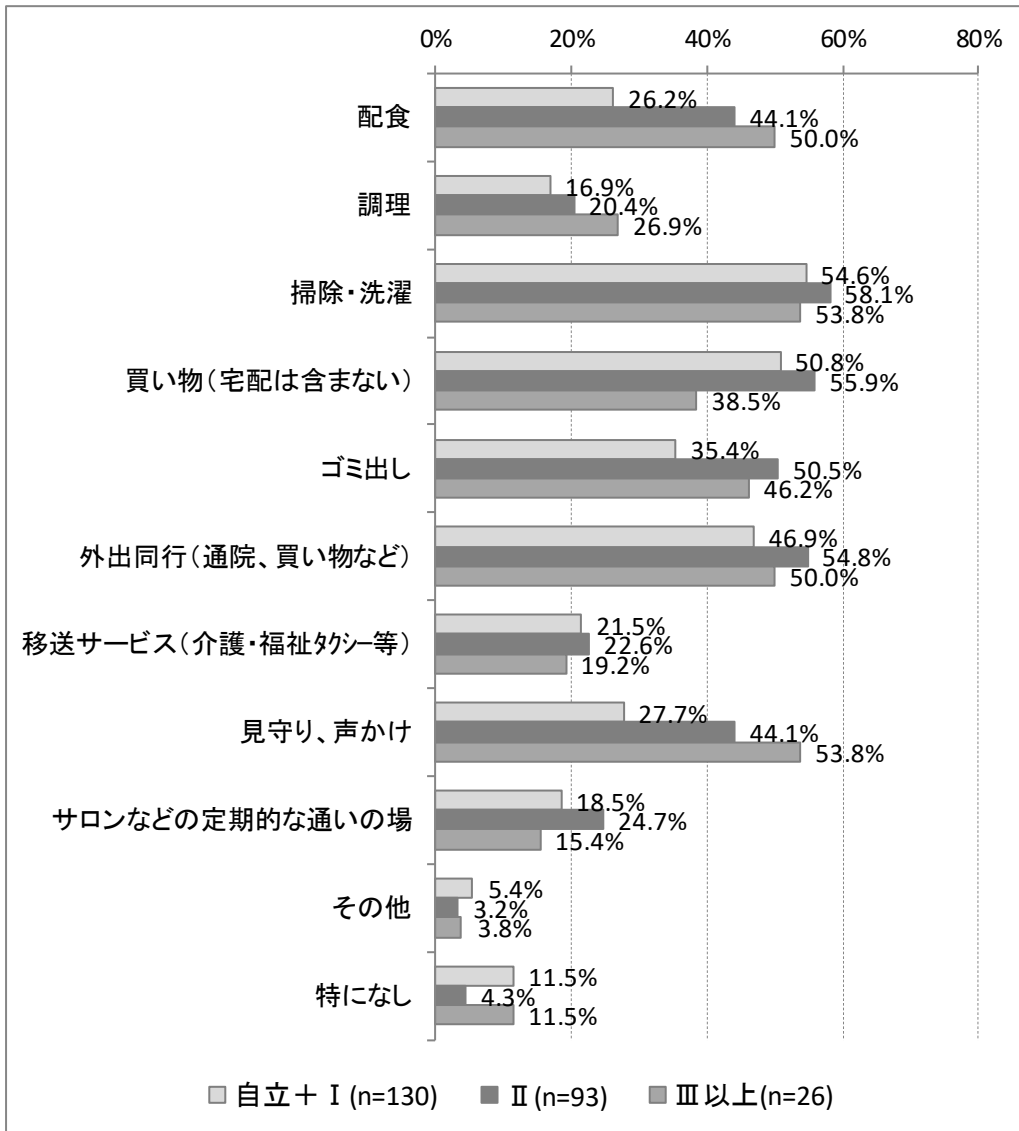
【図表 393】 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



【認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「掃除・洗濯」が 54.6%ともっとも割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が 50.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が 46.9%となっている。「Ⅱ」では「掃除・洗濯」が 58.1%ともっとも割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が 55.9%、「外出同行（通院、買い物など）」が 54.8%となっている。「Ⅲ以上」では「掃除・洗濯」、「見守り、声かけ」が 53.8%ともっとも割合が高く、次いで「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」が 50.0%、「ゴミ出し」が 46.2%となっている。

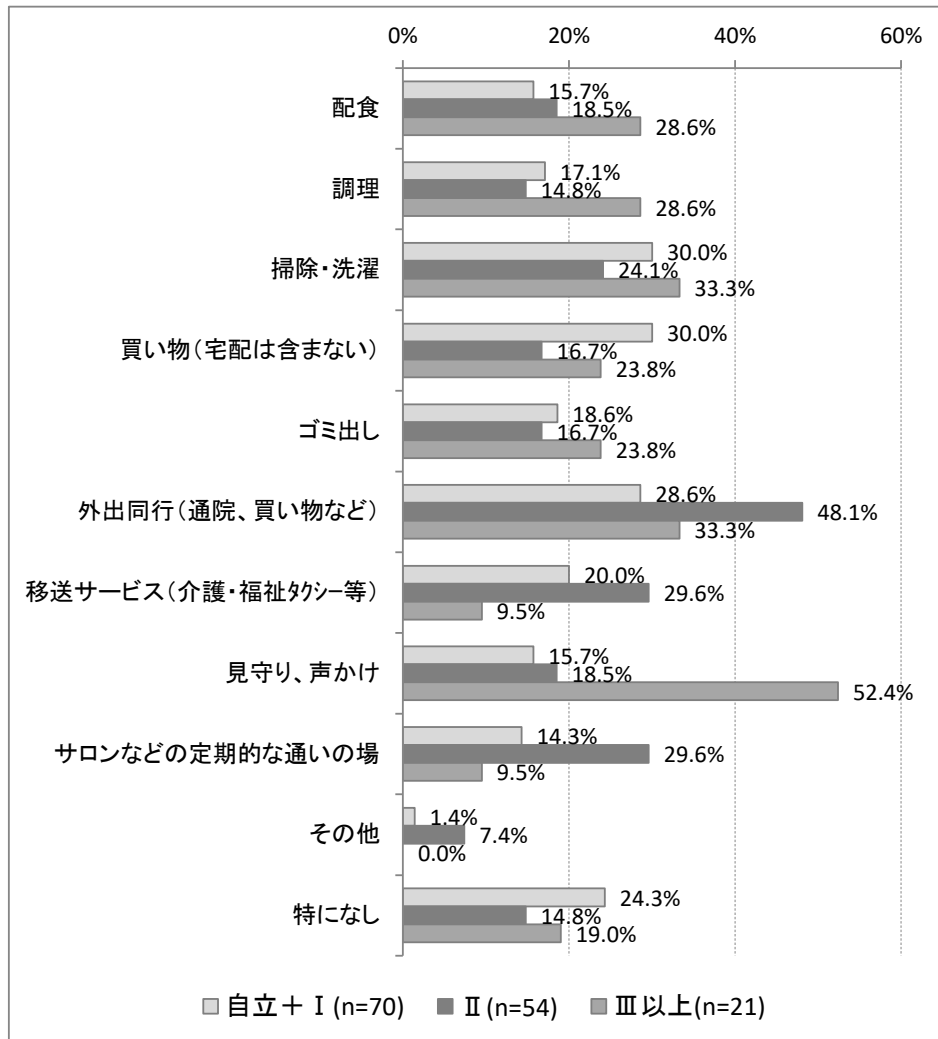
【図表 394】 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



【認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」が 30.0%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 28.6%、「特になし」が 24.3%となっている。「Ⅱ」では「外出同行（通院、買い物など）」が 48.1%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「サロンなどの定期的な通いの場」が 29.6%、「掃除・洗濯」が 24.1%となっている。「Ⅲ以上」では「見守り、声かけ」が 52.4%ともっとも割合が高く、次いで「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」が 33.3%、「配食」、「調理」が 28.6%となっている。

【図表 395】 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



【認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「外出同行（通院、買い物など）」が 39.4%と最も割合が高く、次いで「特になし」が 28.8%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 25.8%となっている。「Ⅱ」では「外出同行（通院、買い物など）」が 44.6%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が 41.0%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 38.6%となっている。「Ⅲ以上」では「外出同行（通院、買い物など）」が 41.0%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」が 37.7%、「買い物（宅配は含まない）」が 26.2%となっている。

【図表 396】 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）

